

2025.05.21版

バイオインフォマティクス分野で開発・提供されているプログラムの多くは、Linux環境で動かすことを前提としています。ここでは、Linuxの1つであるUbuntuのインストールと、Linux環境の基本的な利用法を紹介します。Windows 11およびChromeで動作確認しています。

# Linux基礎(Windows版)

東京大学大学院農学生命科学研究科

アグリバイオインフォマティクス教育研究プログラム

<https://www.iu.a.u-tokyo.ac.jp/>

メール: [info@iu.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:info@iu.a.u-tokyo.ac.jp)

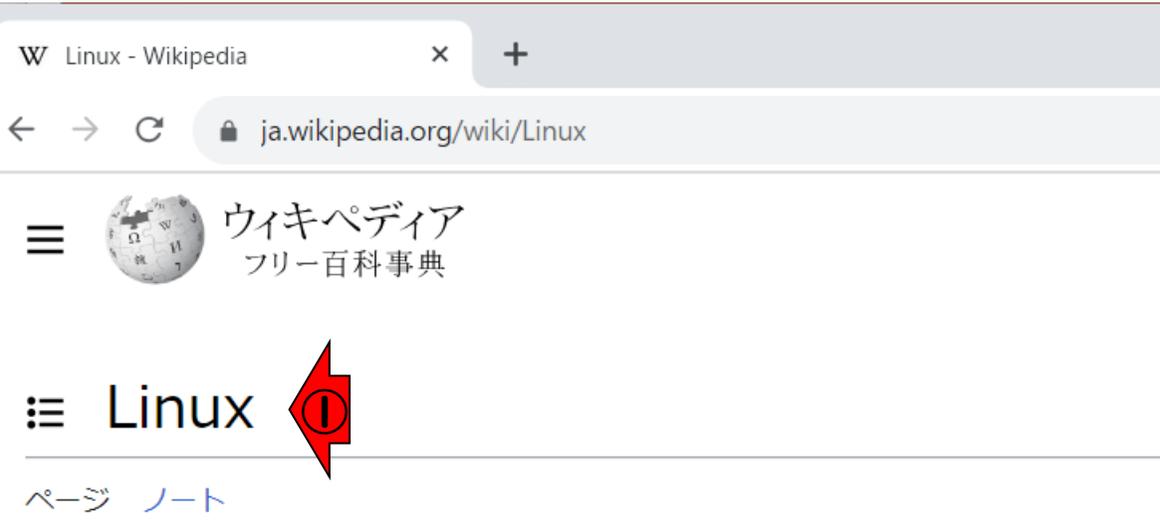
X: @Agribio\_utokyo

# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

# はじめに |

①Linux(リナックス)とは、WindowsやMacのようなオペレーティングシステム(OS)の一つです。Windowsでは、コマンドプロンプトで独特なコマンドを打ち込むことがあります。Linuxも、基本的に専用のLinuxコマンドを打ち込んで解析を進めていきます。そのため、最初はコマンドを覚えるのが大変ですが、慣れると非常に効率よく解析を行うことができるメリットがあります。実際、多くのバイオフィーマティシャンはLinuxを使いこなしています。



出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

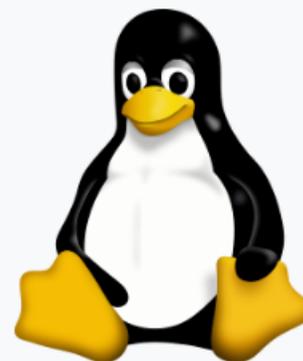
**Linux** (リナックス、他の読みは#「Linux」の読み方で後述)とは、狭義にはUnix系オペレーティングシステムカーネルであるLinuxカーネルを指し、広義にはそれをカーネルとして周辺を整備したシステム全体のことをいう (GNU/Linuxも参照)。

## 概要 [編集]

Linuxは、狭義にはLinuxカーネル、広義にはそれをカーネルとして用いたオペレーティングシステムを指す。

LinuxはUnix系 (英: Unix like、Unixライク) オペレーティングシステム (OS) の1つとされる。カタカナでは「リナックス」と表記されることが多い (「Linux」の読み方を参照)。Linuxは、スーパーコンピュータ、メインフレーム、サーバ、パーソナルコンピュータ、組み込みシステム (携帯電話やテレビなど) など、幅広い種類のハ

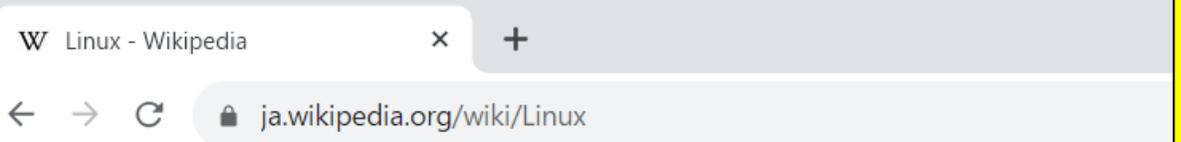
## Linux



OSの系統	Unix系
開発状況	開発進行中
ソースモデル	FLOSS

# はじめに 2

Windowsに10や11が、そしてMacには macOS VenturaやSonomaといった派生版が存在します。これと同様に、② LinuxにもDebianやRed Hatなどいくつかの派生版があります。ここでは、初心者向けとして有名な③Ubuntuのインストールから、Linuxの基本的な利用法を示します。③をクリック。



その後史上最も多くハードウェアプラットフォーム向けにリリースされたOSとなった[2]。カーネルについての詳細はLinuxカーネルの記事を参照。現在では特にサーバ、メインフレーム、スーパーコンピュータ用のOSとして首位を走っている[3][4][5][6][2]。また、携帯電話、ネットワークルータ、テレビ、ハードディスクレコーダ、カーナビゲーションシステム、ゲーム機といった組み込みシステムでもよく使われている[7][8]。スマートフォンやタブレット端末用プラットフォームAndroidはLinuxカーネルの上に構築されている。

Linuxの開発は、フリーかつオープンソースなソフトウェアの共同開発として最も傑出した例のひとつである[9]。

Linuxカーネルのソースコードは無償で入手でき、GNU一般公衆利用許諾書のもとにおいて、非営利・営利に関わらず誰でも自由に使用・修正・頒布できる。Linuxは、世界中の開発者の知識を取り入れるという方法によって、あらゆる方面に利用できる幅広い機能と柔軟性を獲得し、数多くのユーザの協力によって問題を修正していくことで高い信頼性を獲得した。

デスクトップやサーバ用のLinuxは、Linuxディストリビューションという形でパッケージ化されて配布されている。有名なLinuxディストリビューションとしては、Debian（とその派生であるUbuntu、Linux Mint）、Red Hat Linux（とその派生であるFedora、Red Hat Enterprise Linux、CentOS）、Mandriva Linux/Mageia、openSUSE、Arch Linuxなどがある。各Linuxディストリビューションは、Linuxカーネル、システムソフトウェア、ライブラリ等、巨大なコンパイル済のアプリケーション群を含んでいる。

使用できる言語	多言語対応
パッケージ管理	多種
プラットフォーム	Linuxカーネル#対応アーキテクチャを参照
カーネル種別	モノリシックカーネル
ユーザランド	様々
既定のUI	多種
ライセンス	LinuxカーネルはGNU GPL
ウェブサイト	kernel.org

[テンプレートを表示](#)



# はじめに 3

④Ubuntuは、Linuxディストリビューションの一つです。細かいことは気にしなくてもよいですが、**重要なのはWindows上でLinuxを動かす仕組みがWSLであり、実際にインストールして利用するのはUbuntuだ**という関係性を理解していればよいです。ちなみにMacにはターミナルというソフトウェアがありますが、それがUbuntuに相当します。

W Ubuntu - Wikipedia × +

← → ↻ ja.wikipedia.org/wiki/Ubuntu

≡  ウィキペディア  
フリー百科事典

≡ Ubuntu

ページ ノート 閲覧 編集 履歴表示 ツール ▾

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

 この項目では、OSについて説明しています。書体については「Ubuntu (書体)」をご覧ください。

**Ubuntu** (ウブントウ<sup>[6]</sup>、[ʊbʊntu]<sup>[7]</sup>  音声ファイル); oo-BOON-too<sup>[7]</sup>) は Debian GNU/Linuxを母体としたオペレーティングシステム (OS) である。Linux ディストリビューションの一つであり、フリーソフトウェアとして提供されている。概念はディストリビューションも参照。カノニカルから支援を受けて開発されている。開発目標は「誰にでも使いやすい最新かつ安定したOS」を提供することである。

**特徴** [編集]

Ubuntuは**使いやすさ**を重要視している。例えばアプリケーションの観点では、標準的なシステムツールに加えて写真編集ツールのShotwell、オフィススイートの

④



# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

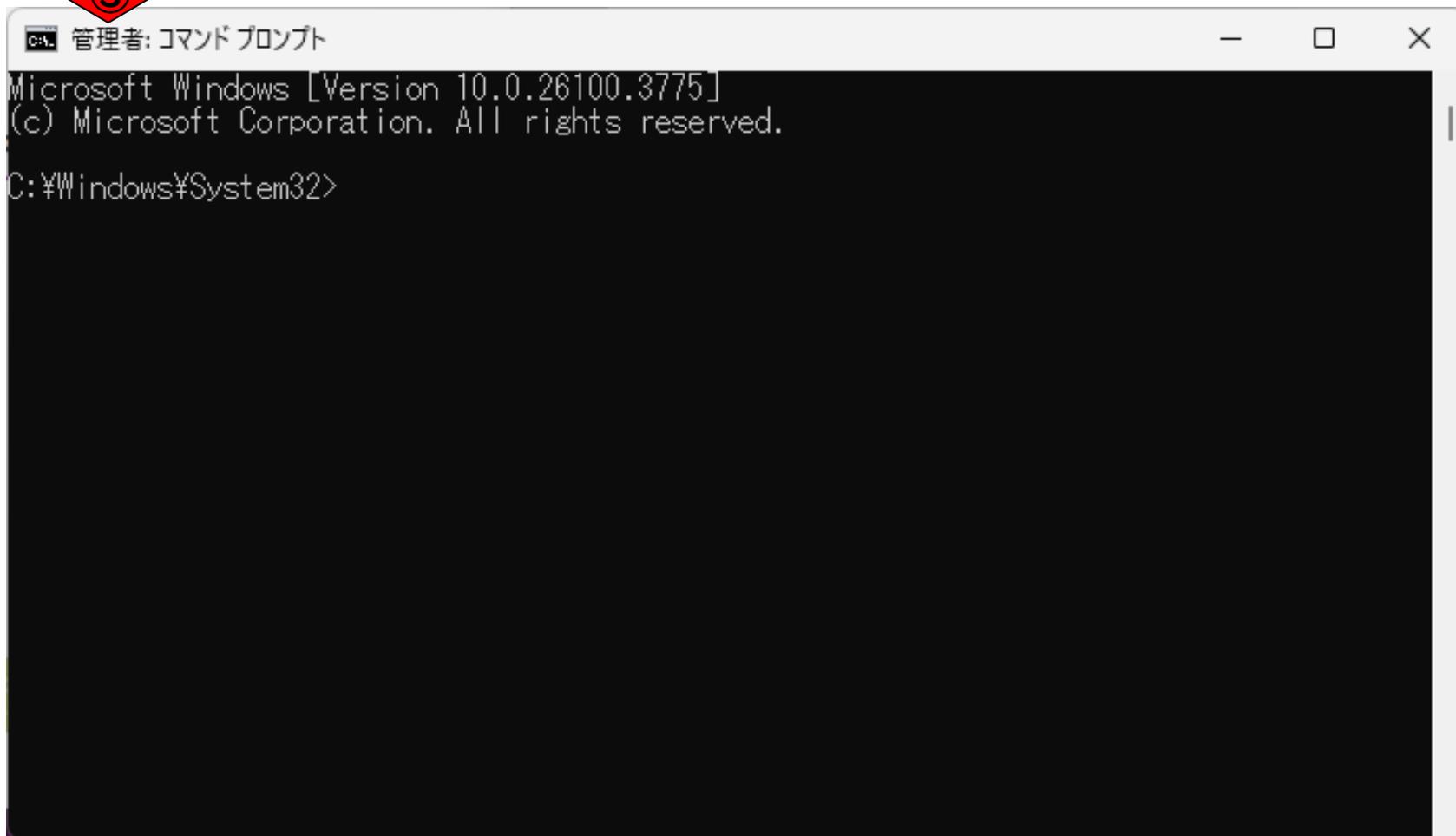
# Ubuntuのインストール |

Windowsのスタートメニュー上で、①  
「コマンドプロンプト」で検索し、②  
「管理者として実行」をクリック。



# Ubuntuのインストール 2

Windowsのスタートメニュー上で、①「コマンドプロンプト」で検索し、②「管理者として実行」をクリック。コマンドプロンプト起動後の状態。③の部分が「管理者」となっていればOK。

A screenshot of a Windows Command Prompt window. The title bar reads "管理者: コマンド プロンプト" (Administrator: Command Prompt). The window content shows the following text:

```
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]  
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.  
  
C:¥Windows¥System32>
```

# Ubuntuのインストール 3

Windowsのスタートメニュー上で、①「コマンドプロンプト」で検索し、②「管理者として実行」をクリック。コマンドプロンプト起動後の状態。③の部分が「管理者」となっていればOK。④「wsl --install -d Ubuntu」と打ち込んでリターン。

```
管理: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Windows\System32>wsl --install -d Ubuntu
```

# Ubuntuのインストール 4

Windowsのスタートメニュー上で、①「コマンドプロンプト」で検索し、②「管理者として実行」をクリック。コマンドプロンプト起動後の状態。③の部分が「管理者」となっていればOK。④「wsl --install -d Ubuntu」と打ち込んでリターン。インストール開始。

```
管理: コマンド プロンプト - wsl --install -d Ubuntu
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\System32>wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
[=== 5.4% ]
```

# Ubuntuのインストール 5

Windowsのスタートメニュー上で、①「コマンドプロンプト」で検索し、②「管理者として実行」をクリック。コマンドプロンプト起動後の状態。③の部分が「管理者」となっていればOK。④「wsl --install -d Ubuntu」と打ち込んでリターン。インストール開始。インストール進行中。

```
管理: コマンド プロンプト - wsl --install -d Ubuntu
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\System32>wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
[===== 34.6% ]
```

# Ubuntuのインストール 6

インストール完了後の状態。①のようなウィンドウも表示されると思います。

```
管理: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\System32>wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
インストール中: Ubuntu
ディストリビューションが正常にインストールされました。'wsl.exe -d Ubuntu' を使用して
起動できます

C:\Windows\System32>
```



Linux 用 Windows サブシステム

- 全般
- ファイル システム間での作業
- GUI アプリ
- GPU アクセラレータ
- ネットワーク統合
- ディストリビューションの管理
- Docker Desktop の統合
- VS Code の統合

### WSL へようこそ

Linux 用 Windows サブシステム (WSL) を使用すると、お気に入りの Linux ツール、ユーティリティ、アプリケーション、ワークフローを Windows で直接実行できます。

少しの時間を取って、コミュニティのお気に入りの機能をいくつかプレビューしたり、包括的なドキュメントを表示したりしてみてください。

[Linux 用 Windows サブシステム \(WSL\) ドキュメント](#)

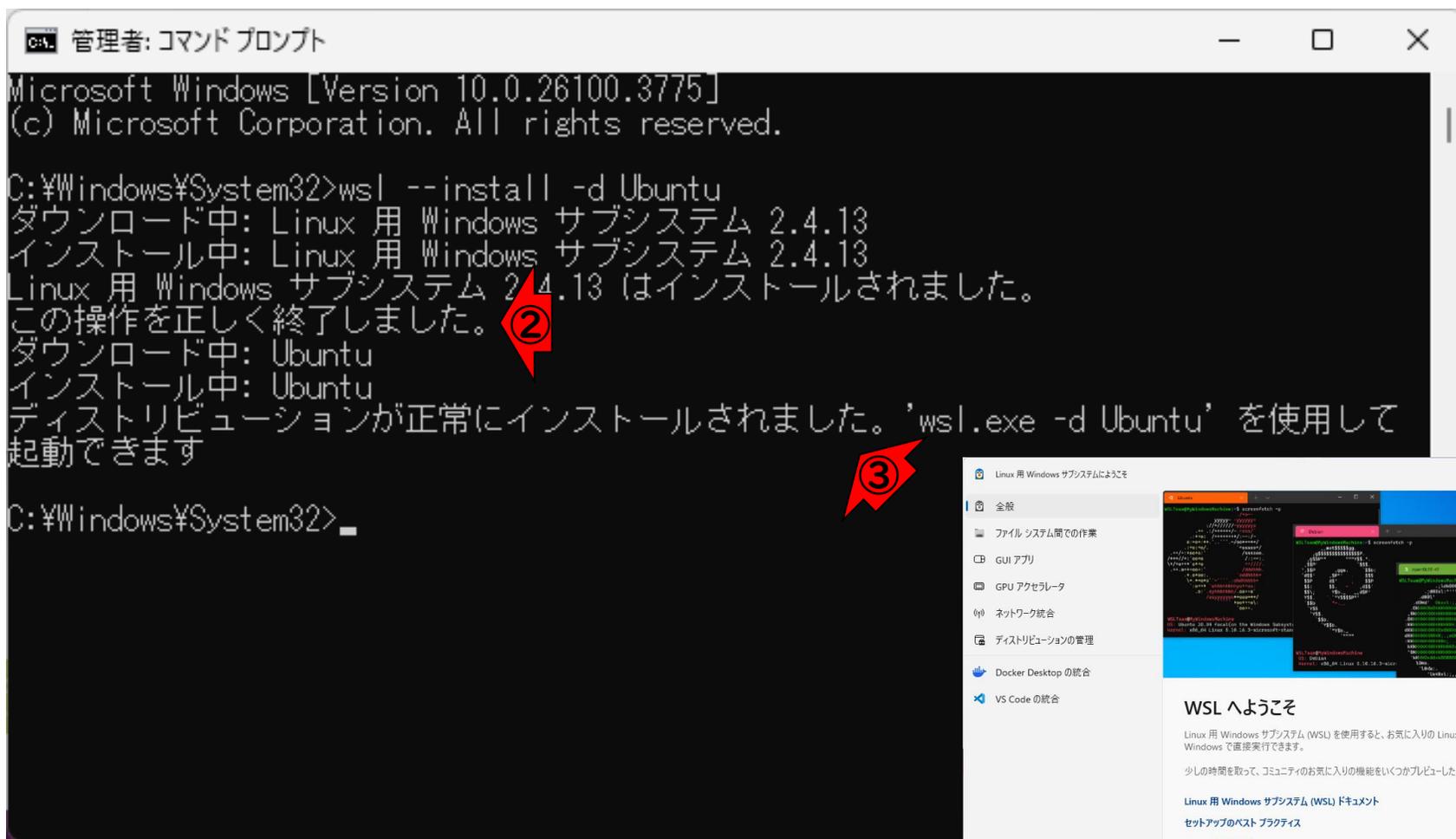
[セットアップのベスト プラクティス](#)

[Linux を使い始める](#)

設定

# Ubuntuのインストール 7

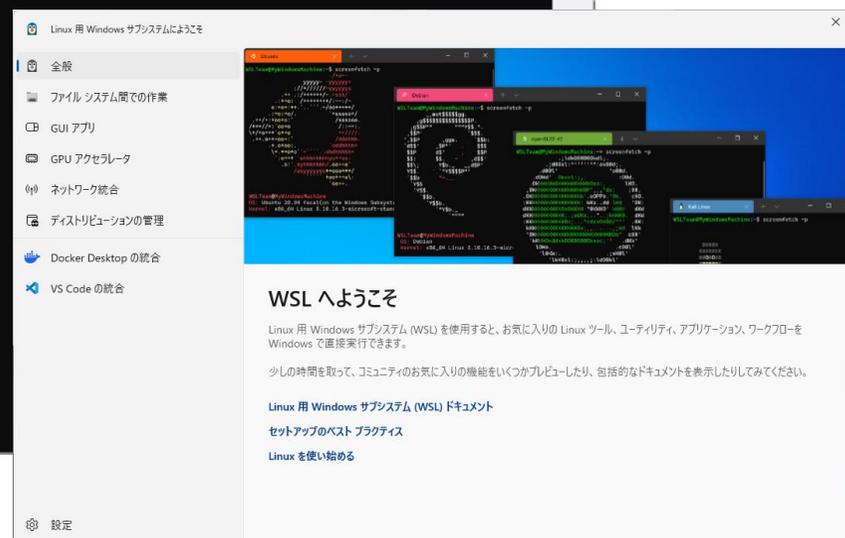
インストール完了後の状態。①のようなウィンドウも表示されると思います。②や③より、インストールが成功していると判断します。



```
管理: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\System32>wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
インストール中: Ubuntu
ディストリビューションが正常にインストールされました。'wsl.exe -d Ubuntu' を使用して
起動できます

C:\Windows\System32>
```



Linux 用 Windows サブシステムによる

- 全般
- ファイル システム間での作業
- GUI アプリ
- GPU アクセラレータ
- ネットワーク統合
- ディストリビューションの管理
- Docker Desktop の統合
- VS Code の統合

### WSL へようこそ

Linux 用 Windows サブシステム (WSL) を使用すると、お気に入りの Linux ツール、ユーティリティ、アプリケーション、ワークフローを Windows で直接実行できます。

少しの時間を取って、コミュニティのお気に入りの機能をいくつかプレビューしたり、包括的なドキュメントを表示したりしてみてください。

[Linux 用 Windows サブシステム \(WSL\) ドキュメント](#)

[セットアップのベスト プラクティス](#)

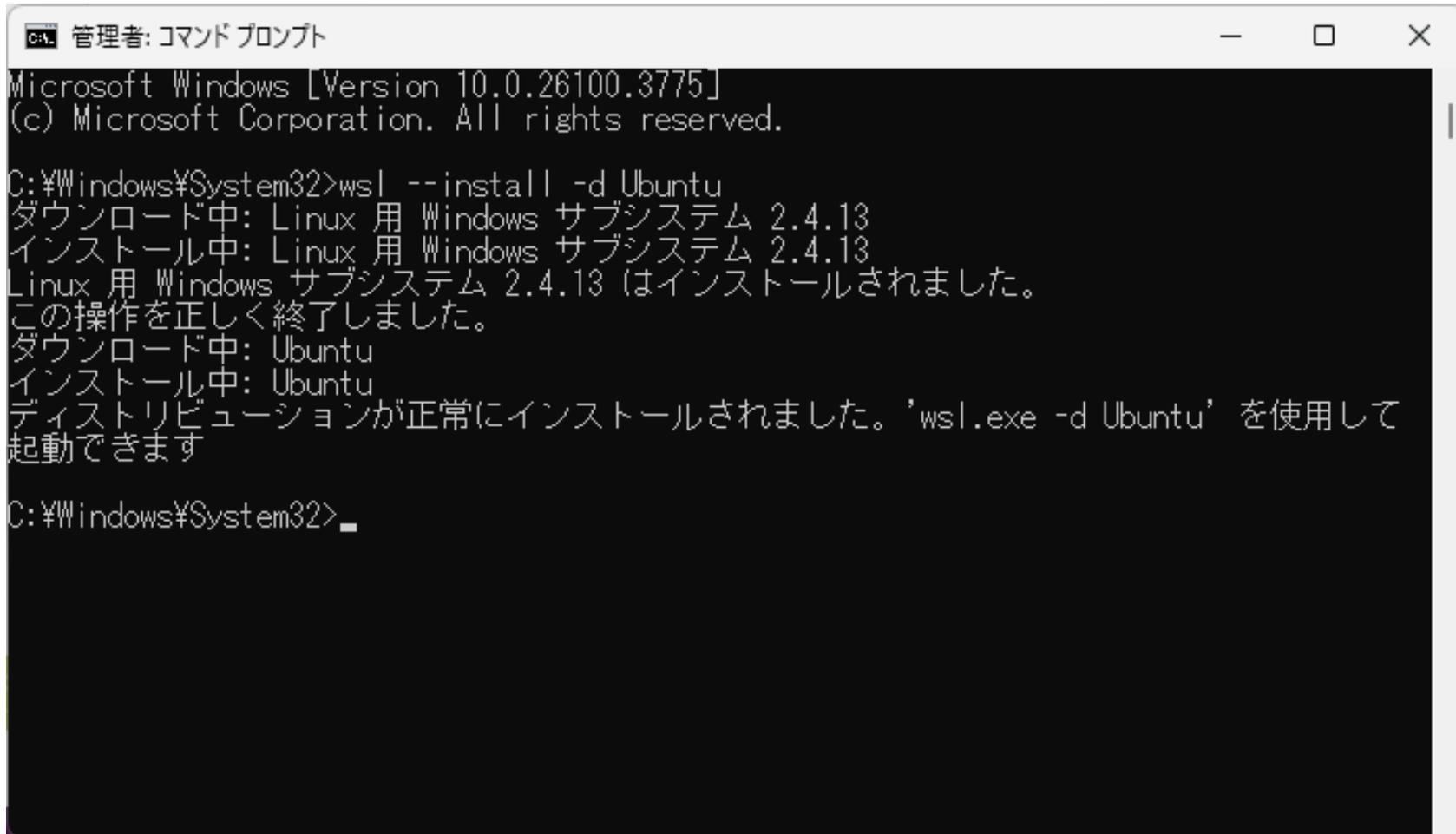
[Linux を使い始める](#)

# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- **Ubuntuの初期設定**
- Ubuntuの起動と終了
- **基本的な利用法**
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

先ほどのコマンドプロンプト画面を再掲。

# Ubuntuの初期設定 1



```
管理: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥Windows¥System32>wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
インストール中: Ubuntu
ディストリビューションが正常にインストールされました。'wsl.exe -d Ubuntu' を使用して
起動できます

C:¥Windows¥System32>_
```

# Ubuntuの初期設定 2

先ほどのコマンドプロンプト画面を再掲。Ubuntuの起動は、①を②のようにコピペ実行します。

```
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥Windows¥System32>wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
インストール中: Ubuntu
ディストリビューションが正常にインストールされました。 'wsl.exe -d Ubuntu' を使用して
起動できます

C:¥Windows¥System32>wsl.exe -d Ubuntu_
```

# Ubuntuの初期設定 3

ユーザ名kadotaでログインしているPCの場合は、③のように見えます。ここでは、「WSLという仕組みを通じてWindows内で動かすLinux環境の実体の一つであるUbuntu」において、どのようなユーザ名にするかを入力するように促されています。これは今ログイン中のWindowsと同じユーザ名（この場合はkadota）でもよいですし、独立に別のユーザ名にしてもよいです。

```
C:\> 管理者: C:\WINDOWS\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\> wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
インストール中: Ubuntu
ディストリビューションが正常にインストールされました。'wsl.exe -d Ubuntu' を使用して
起動できます

C:\> wsl.exe -d Ubuntu
Provisioning the new WSL instance Ubuntu
This might take a while...
Create a default Unix user account: kadota
```



# Ubuntuの初期設定 4

ユーザ名kadotaでログインしているPCの場合は、③のように見えます。ここでは、「WSLという仕組みを通じてWindows内で動かすLinux環境の実体の一つであるUbuntu」において、どのようなユーザ名にするかを入力するように促されています。これは今ログイン中のWindowsと同じユーザ名（この場合はkadota）でもよいですし、独立に別のユーザ名にしてもよいです。ここでは④agribioというユーザ名にしてみます。

```
C:\> 管理者: C:\WINDOWS\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\> wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
インストール中: Ubuntu
ディストリビューションが正常にインストールされました。'wsl.exe -d Ubuntu' を使用して
起動できます

C:\> wsl.exe -d Ubuntu
Provisioning the new WSL instance Ubuntu
This might take a while...
Create a default Unix user account: agribio_
```



# Ubuntuの初期設定 5

ユーザ名kadotaでログインしているPCの場合は、③のように見えます。ここでは、「WSLという仕組みを通じてWindows内で動かすLinux環境の実体の一つであるUbuntu」において、どのようなユーザ名にするかを入力するように促されています。これは今ログイン中のWindowsと同じユーザ名（この場合はkadota）でもよいですし、独立に別のユーザ名にしてもよいです。ここでは④agribioというユーザ名にしてみます。⑤パスワードも任意に設定します。

```
C:\> 管理者: C:\WINDOWS\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\System32>wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
インストール中: Ubuntu
ディストリビューションが正常にインストールされました。'wsl.exe -d Ubuntu' を使用して
起動できます

C:\WINDOWS\System32>wsl.exe -d Ubuntu
Provisioning the new WSL instance Ubuntu
This might take a while...
Create a default Linux user account: agribio
New password:  ⑤
```

# Ubuntuの初期設定 6

ユーザ名kadotaでログインしているPCの場合は、③のように見えます。ここでは、「WSLという仕組みを通じてWindows内で動かすLinux環境の実体の一つであるUbuntu」において、どのようなユーザ名にするかを入力するように促されています。これは今ログイン中のWindowsと同じユーザ名（この場合はkadota）でもよいですし、独立に別のユーザ名にしてもよいです。ここでは④agribioというユーザ名にしてみます。⑤パスワードも任意に設定します。⑥パスワードを再度入力して確定させます。

```
C:\> 管理者: C:\WINDOWS\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.3775]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\> wsl --install -d Ubuntu
ダウンロード中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
インストール中: Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13
Linux 用 Windows サブシステム 2.4.13 はインストールされました。
この操作を正しく終了しました。
ダウンロード中: Ubuntu
インストール中: Ubuntu
ディストリビューションが正常にインストールされました。 'wsl.exe -d Ubuntu' を使用して起動できます

C:\> wsl.exe -d Ubuntu
Provisioning the new WSL instance Ubuntu
This might take a while...
Create a default Unix user account: agribio
New password:
Retype new password: ⑥
```

赤枠のようなメッセージが表示されればOKです。

# Ubuntuの初期設定 7

```
agribio@kadotapc: /mnt/c/Windows/System32
Create a default Unix user account: agribio
New password:
Retype new password:
passwd: password updated successfully
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".
See "man sudo_root" for details.

Welcome to Ubuntu 24.04.2 LTS (GNU/Linux 5.15.167.4-microsoft-standard-WSL2 x86_64)

* Documentation:  https://help.ubuntu.com
* Management:    https://landscape.canonical.com
* Support:       https://ubuntu.com/pro

System information as of Tue Apr 15 15:48:41 JST 2025

System load: 0.0          Processes:              31
Usage of /:  0.1% of 1006.85GB  Users logged in:      0
Memory usage: 3%          IPv4 address for eth0: 172.29.151.124
Swap usage:  0%

This message is shown once a day. To disable it please create the
/home/agribio/.hushlogin file.
agribio@kadotapc:/mnt/c/Windows/System32$
```

# Ubuntuの初期設定 8

赤枠のようなメッセージが表示されればOKです。①が先ほど入力した任意のユーザ名（この場合はagribio）、②はWindowsのログインユーザ名（この場合はkadota）が含まれるなど、ヒトそれぞれです。

```
agribio@kadotapc: /mnt/c/Windows/System32
Create a default Unix user account: agribio
New password:
Retype new password:
passwd: password updated successfully
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".
See "man sudo_root" for details.

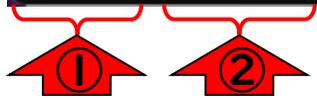
Welcome to Ubuntu 24.04.2 LTS (GNU/Linux 5.15.167.4-microsoft-standard-WSL2 x86_64)

* Documentation:  https://help.ubuntu.com
* Management:    https://landscape.canonical.com
* Support:       https://ubuntu.com/pro

System information as of Tue Apr 15 15:48:41 JST 2025

System load:  0.0          Processes:            31
Usage of /:   0.1% of 1006.85GB  Users logged in:     0
Memory usage: 3%          IPv4 address for eth0: 172.29.151.124
Swap usage:   0%

This message is shown once a day. To disable it please create the
/home/agribio/.hushlogin file.
agribio@kadotapc: /mnt/c/Windows/System32$
```



ちなみに、③に相当する場所は、エクスプローラーから辿れる④と同じです。

# Ubuntuの初期設定 9

```

C:\ agribio@kadotapc: /mnt/c/Windows/System32
Create a default Unix user account: agribio
New password:
Retype new password:
passwd: password updated successfully
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo"
See "man sudo_root" for details.

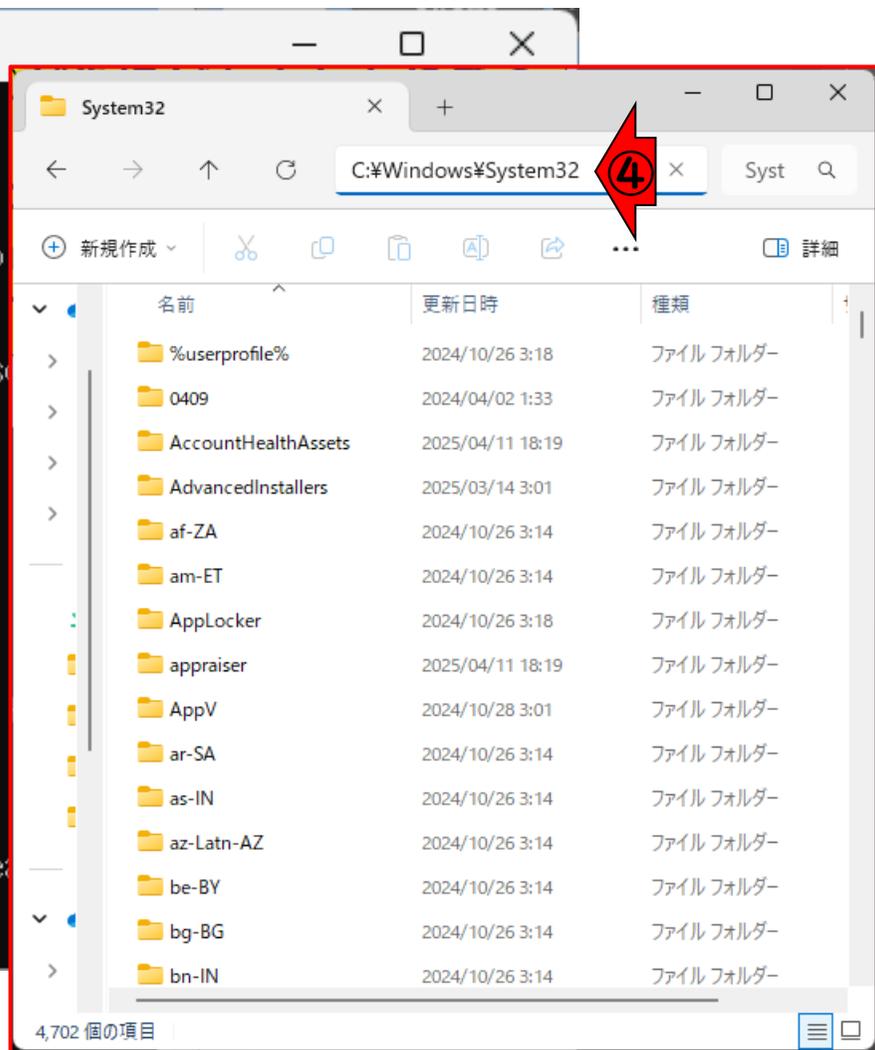
Welcome to Ubuntu 24.04.2 LTS (GNU/Linux 5.15.167.4-micros

* Documentation:  https://help.ubuntu.com
* Management:    https://landscape.canonical.com
* Support:       https://ubuntu.com/pro

System information as of Tue Apr 15 15:48:41 JST 2025

System load: 0.0          Processes:
Usage of /:  0.1% of 1006.85GB Users logged in:
Memory usage: 3%         IPv4 address for eth0:
Swap usage:  0%

This message is shown once a day. To disable it please create
/home/agribio/.hushlogin file.
agribio@kadotapc: /mnt/c/Windows/System32$
    
```



# Ubuntuの初期設定 10

ちなみに、③に相当する場所は、エクスプローラーから辿れる④と同じです。④の赤枠内で見られるフォルダやファイルは、Ubuntu上でも見られます。今は⑤agribioというユーザ名でUbuntuを起動している状態なので、Linuxコマンドの、⑥lsを利用可能です。

```

C:\ agribio@kadotapc: /mnt/c/Windows/System32
Create a default Unix user account: agribio
New password:
Retype new password:
passwd: password updated successfully
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo"
See "man sudo_root" for details.

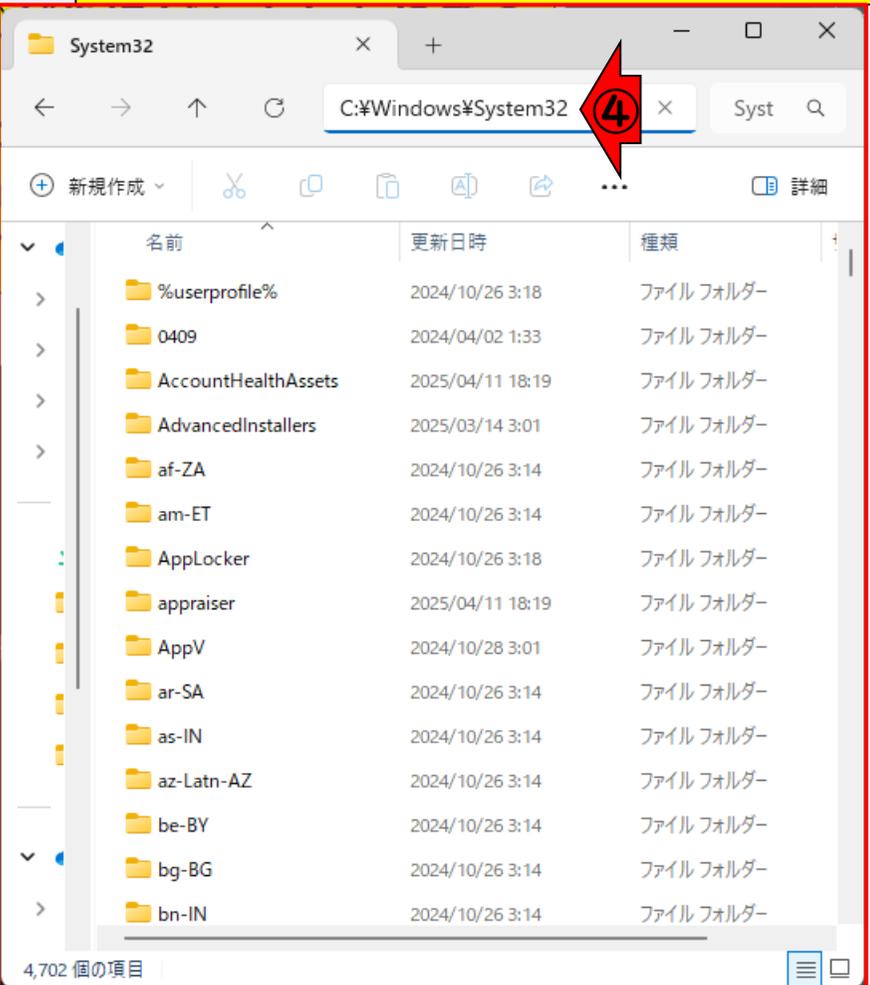
Welcome to Ubuntu 24.04.2 LTS (GNU/Linux 5.15.167.4-micros

* Documentation:  https://help.ubuntu.com
* Management:    https://landscape.canonical.com
* Support:       https://ubuntu.com/pro

System information as of Tue Apr 15 15:48:41 JST 2025

System load: 0.0          Processes:
Usage of /:  0.1% of 1006.85GB  Users logged in:
Memory usage: 3%          IPv4 address for eth0:
Swap usage:  0%

This message is shown once a day. To disable it please create
/home/agribio/.hushlogin file.
agribio@kadotapc:/mnt/c/Windows/System32$ ls
    
```

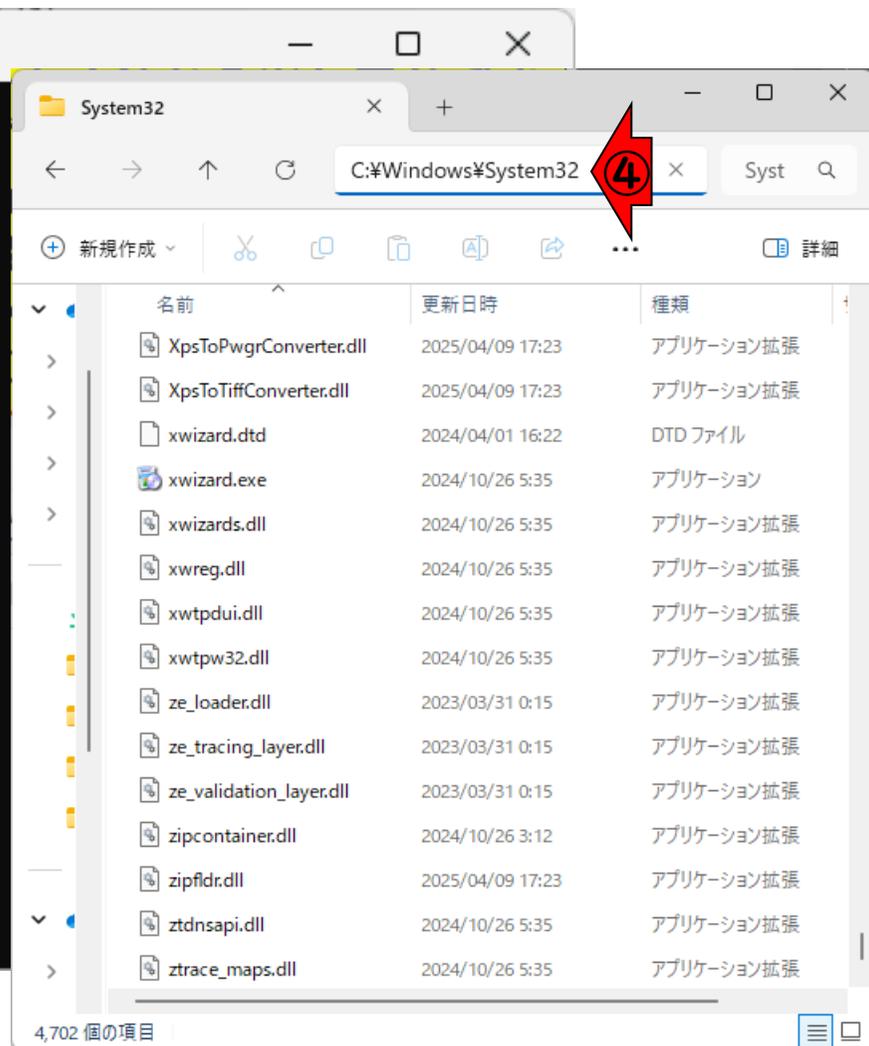


# Ubuntuの初期設定 II

参考

今いる場所のファイルやフォルダをリストアップするlsコマンドの実行結果。画面がざっと流れますが、確かに同じようなものが見えています。

```
agribio@kdotapc: /mnt/c/Windows/System32
xcopy.exe
xmlfilter.dll
xmlite.dll
xmlprovi.dll
xolehlp.dll
xpspushlayer.dll
xpsservices.dll
xwizard.dtd
xwizard.exe
xwizards.dll
xwreg.dll
xwtpdui.dll
xwtpw32.dll
ze_loader.dll
ze_tracing_layer.dll
ze_validation_layer.dll
zipcontainer.dll
zipfldr.dll
ztdnsapi.dll
ztrace_maps.dll
agribio@kdotapc: /mnt/c/Windows/System32$
```



# Ubuntuの初期設定 12

参考

このウィンドウは元々はコマンドプロンプトでした。Ubuntuからコマンドプロンプトに戻りたい場合は、①exit。

```
agribio@kdotapc: /mnt/c/Windows/System32
xcopy.exe
xmlfilter.dll
xmlite.dll
xmlprovi.dll
xolehp.dll
xpspushlayer.dll
xpsservices.dll
xwizard.dtd
xwizard.exe
xwizards.dll
xwreg.dll
xwtpdui.dll
xwtpw32.dll
ze_loader.dll
ze_tracing_layer.dll
ze_validation_layer.dll
zipcontainer.dll
zipfldr.dll
ztdnsapi.dll
ztrace_maps.dll
agribio@kdotapc:/mnt/c/Windows/System32$ exit
```



# Ubuntuの初期設定 13

参考

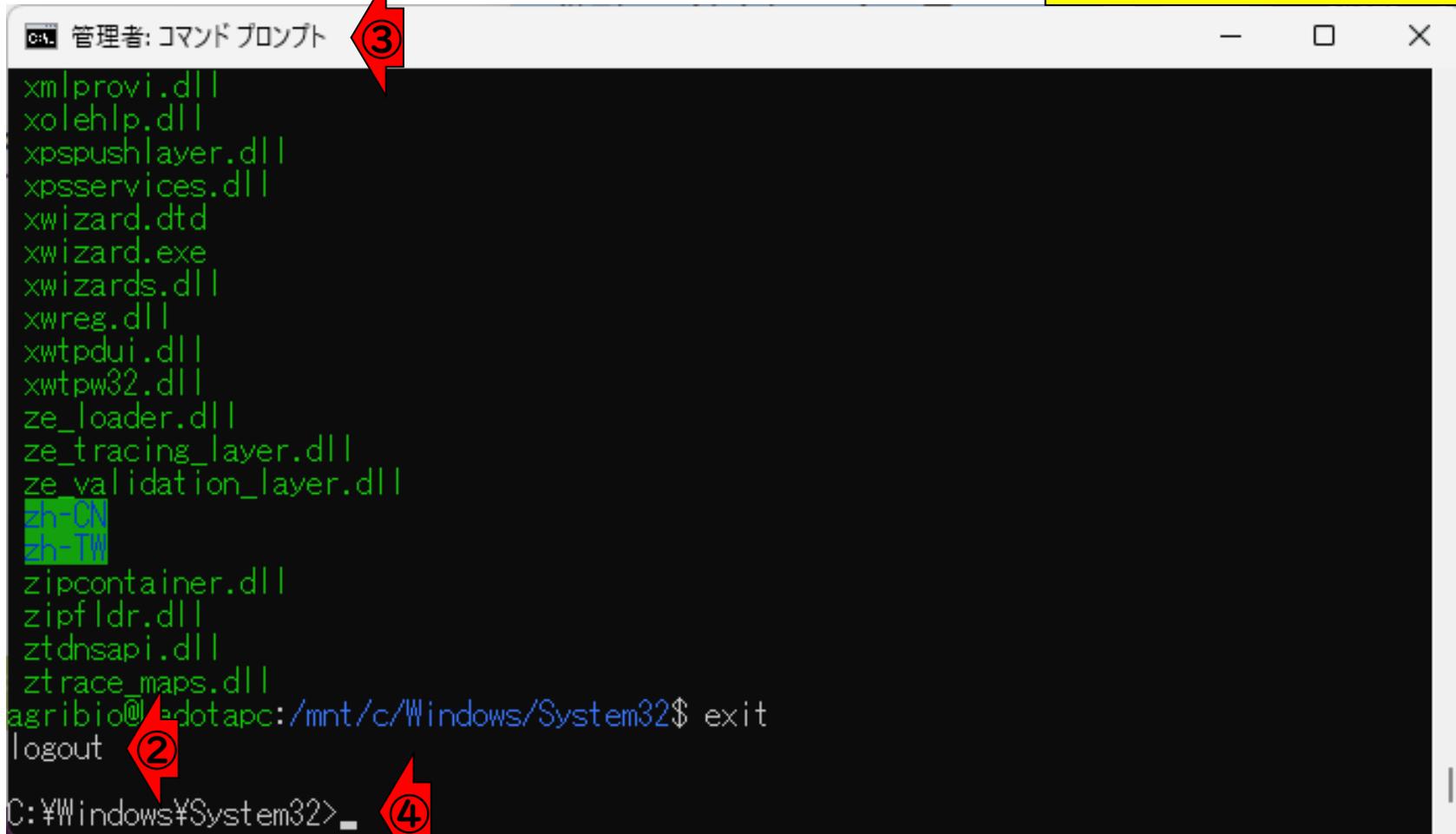
このウィンドウは元々はコマンドプロンプトでした。Ubuntuからコマンドプロンプトに戻りたい場合は、①exit。  
実行結果。

```
管理 管理者: コマンド プロンプト
xmlprovi.dll
xolehlp.dll
xpspushlayer.dll
xpsservices.dll
xwizard.dtd
xwizard.exe
xwizards.dll
xwreg.dll
xwtpdui.dll
xwtpw32.dll
ze_loader.dll
ze_tracing_layer.dll
ze_validation_layer.dll
zh-CN
zh-TW
zipcontainer.dll
zipfldr.dll
ztdnsapi.dll
ztrace_maps.dll
agribio@kadotapc: /mnt/c/Windows/System32$ exit
logout
C:¥Windows¥System32>_
```



# Ubuntuの初期設定 14

このウィンドウは元々はコマンドプロンプトでした。Ubuntuからコマンドプロンプトに戻りたい場合は、①exit。実行結果。確かにUbuntuから②ログアウトし、③コマンドプロンプトに戻って、④入力待ち状態になっています。



```
C:\ 管理者: コマンド プロンプト
xmlprovi.dll
xolehlp.dll
xpspushlayer.dll
xpsservices.dll
xwizard.dtd
xwizard.exe
xwizards.dll
xwreg.dll
xwtpdui.dll
xwtpw32.dll
ze_loader.dll
ze_tracing_layer.dll
ze_validation_layer.dll
zh-CN
zh-TW
zipcontainer.dll
zipfldr.dll
ztdnsapi.dll
ztrace_maps.dll
agribio@edotapc:/mnt/c/Windows/System32$ exit
logout
C:\Windows\System32>
```

③

②

④

# Ubuntuの初期設定 15

コマンドプロンプトの終了は、④exitでも、⑤×でもよいです。Ubuntuの終了も、⑤×でよいです。

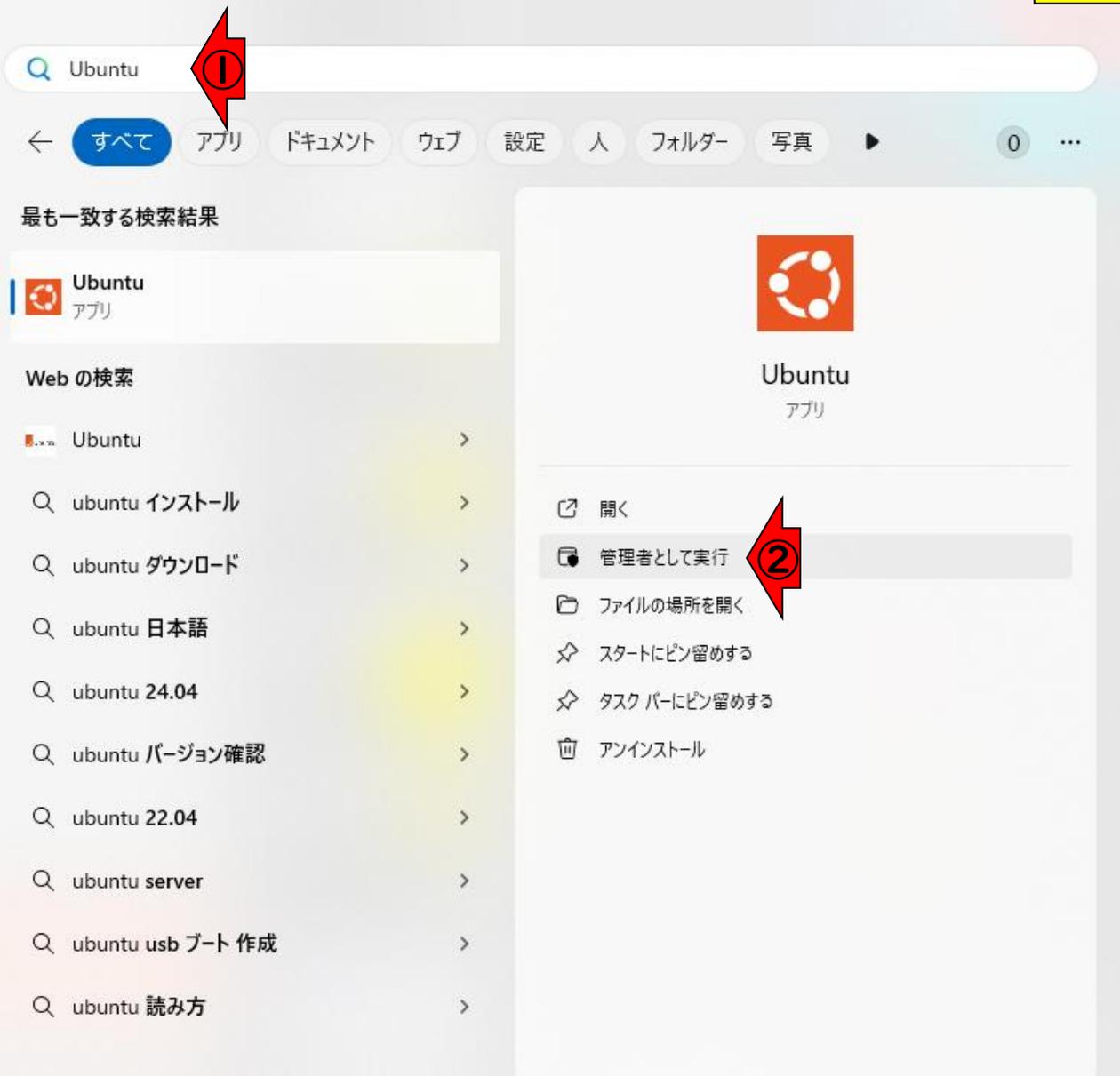
```
C:\ 管理者: コマンド プロンプト
xmlprovi.dll
xolehlp.dll
xpspushlayer.dll
xpsservices.dll
xwizard.dtd
xwizard.exe
xwizards.dll
xwreg.dll
xwtpdui.dll
xwtpw32.dll
ze_loader.dll
ze_tracing_layer.dll
ze_validation_layer.dll
ch-UN
ch-TW
zipcontainer.dll
zipfldr.dll
ztdnsapi.dll
ztrace_maps.dll
agribio@kadotapc:/mnt/c/Windows/System32$ exit
logout
C:¥Windows¥System32>exit_
```

# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

# Ubuntuの起動と終了 1

Windowsのスタートメニュー上で、①「Ubuntu」で検索し、②管理者として実行。



# Ubuntuの起動と終了 2

起動後は、いずれかの画面が見えればOKです。①の部分はヒトそれぞれ。②×ボタンで終了です。

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ _
```



```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo_root" for details.  
Welcome to Ubuntu 24.04.2 LTS (GNU/Linux 5.15.167.4-microsoft-standard-WSL2 x86_64)  
  
* Documentation:  https://help.ubuntu.com  
* Management:    https://landscape.canonical.com  
* Support:       https://ubuntu.com/pro  
  
System information as of Wed Apr 16 13:40:02 JST 2025  
  
System load:  0.0          Processes:            61  
Usage of /:   0.1% of 1006.85GB  Users logged in:    0  
Memory usage: 3%          IPv4 address for eth0: 172.29.151.124  
Swap usage:   0%  
  
This message is shown once a day. To disable it please create the  
/home/agribio/.hushlogin file.  
agribio@kadotapc:~$
```



# Ubuntuの起動と終了 3

起動の仕方によっては、このように見えることもあるかもしれませんが、①のようなのが見えていればOKです。

agribio@kadotapc: ~

x + v

- □ x

To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo\_root" for details.

agribio@kadotapc:~\$ |



# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- **基本的な利用法**
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

# lsとpwdコマンド |

基本的にはLinuxコマンドを駆使して様々な作業を行っていくことになります。それゆえ、Linuxコマンドをある程度使いこなす必要があります。

agribio@kadotapc: ~

To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo\_root" for details.

agribio@kadotapc:~\$

# lsとpwdコマンド 2

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc: ~$ ls  
agribio@kadotapc: ~$ _
```



基本的にはLinuxコマンドを駆使して様々な作業を行っていくことになります。それゆえ、Linuxコマンドをある程度使いこなす必要があります。例えば、①ls（えるえす）は、今いる場所のファイルやフォルダをリストアップするコマンドです。何も表示されていないので、何もないのだと解釈します。

# lsとpwdコマンド 3

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```



基本的にはLinuxコマンドを駆使して様々な作業を行っていくことになります。それゆえ、Linuxコマンドをある程度使いこなす必要があります。例えば、①ls（えるえす）は、今いる場所のファイルやフォルダをリストアップするコマンドです。何も表示されていないので、何もないのだと解釈します。次に、「今自分はどこで作業をしているのか?」を表示させるのが②pwdコマンドです。これはprint working directoryの略です。この場合は、「/home/agribio」となっていることが分かります。agribioの部分は先ほど自分で作成したユーザ名に相当するものなので、ヒトそれぞれです。

# lsとpwdコマンド 4

③この場所は、Ubuntu起動直後のデフォルトのフォルダ(Linuxの世界ではディレクトリ)であり、「**ホームディレクトリ**」と呼ばれる場所になります。

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo_root" for details.
```

```
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```



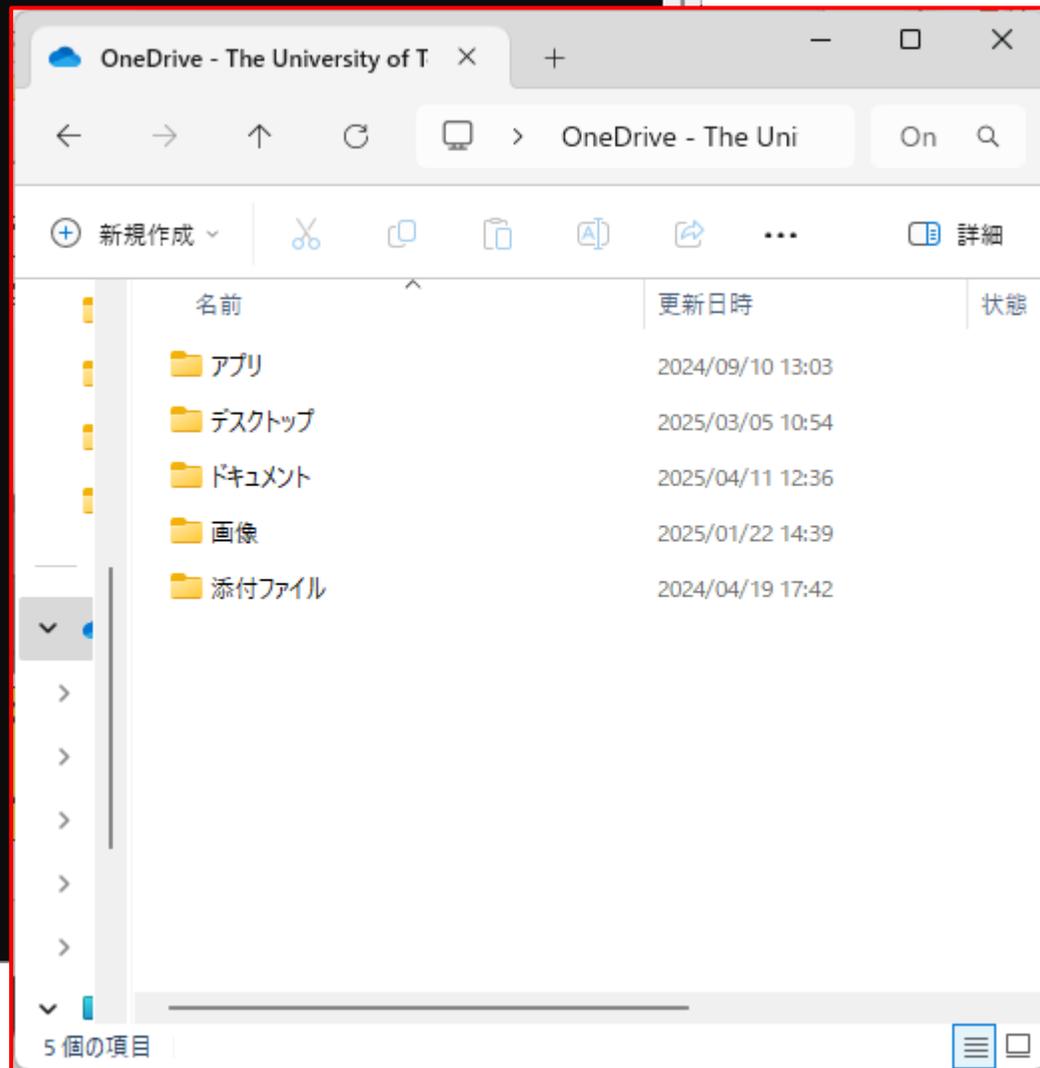
# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

# Windowsのエクスプローラで…

①の場所へのアクセス法です。まず、赤枠のエクスプローラを開きます。

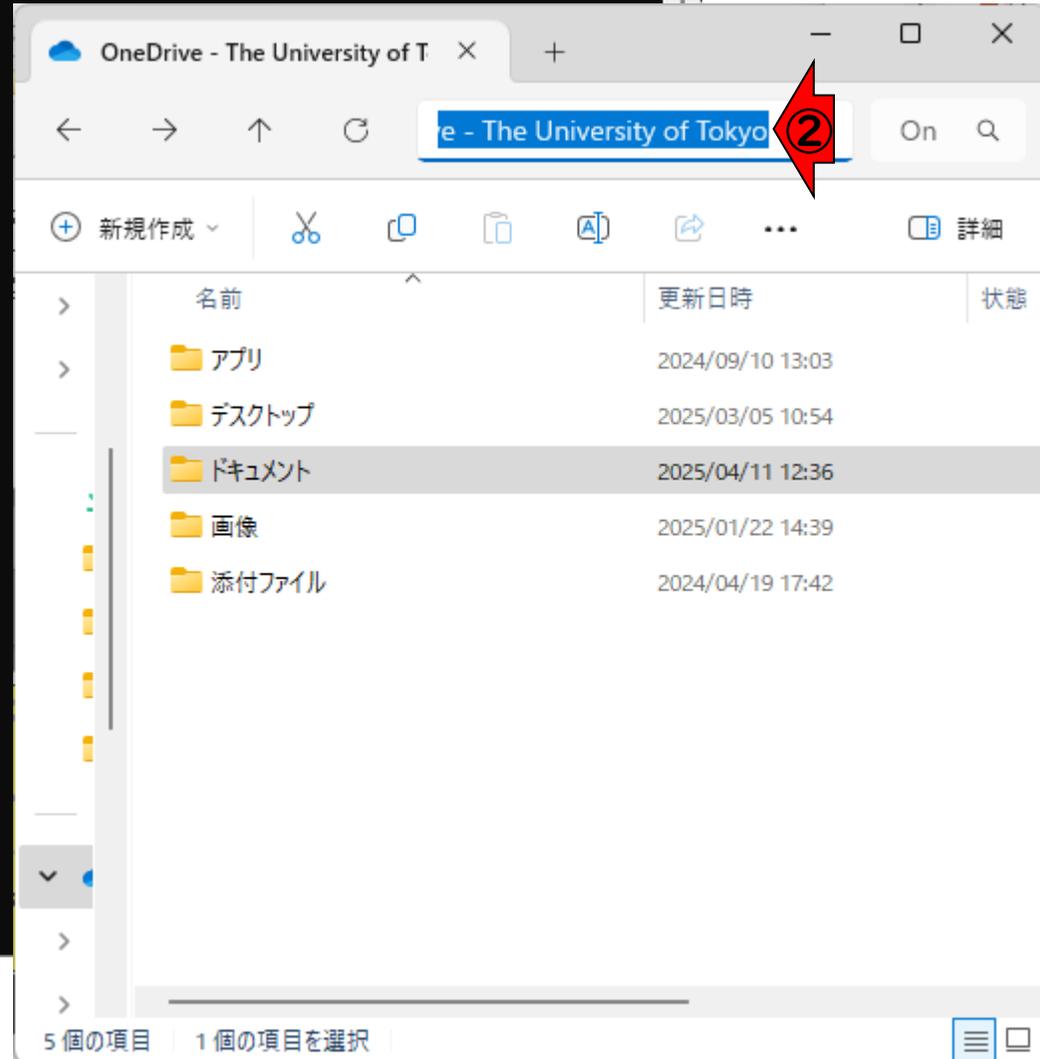
```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```



# Windowsのエクスプローラで… 2

①の場所へのアクセス法です。まず、赤枠のエクスプローラを開きます。②のアドレスバーに…

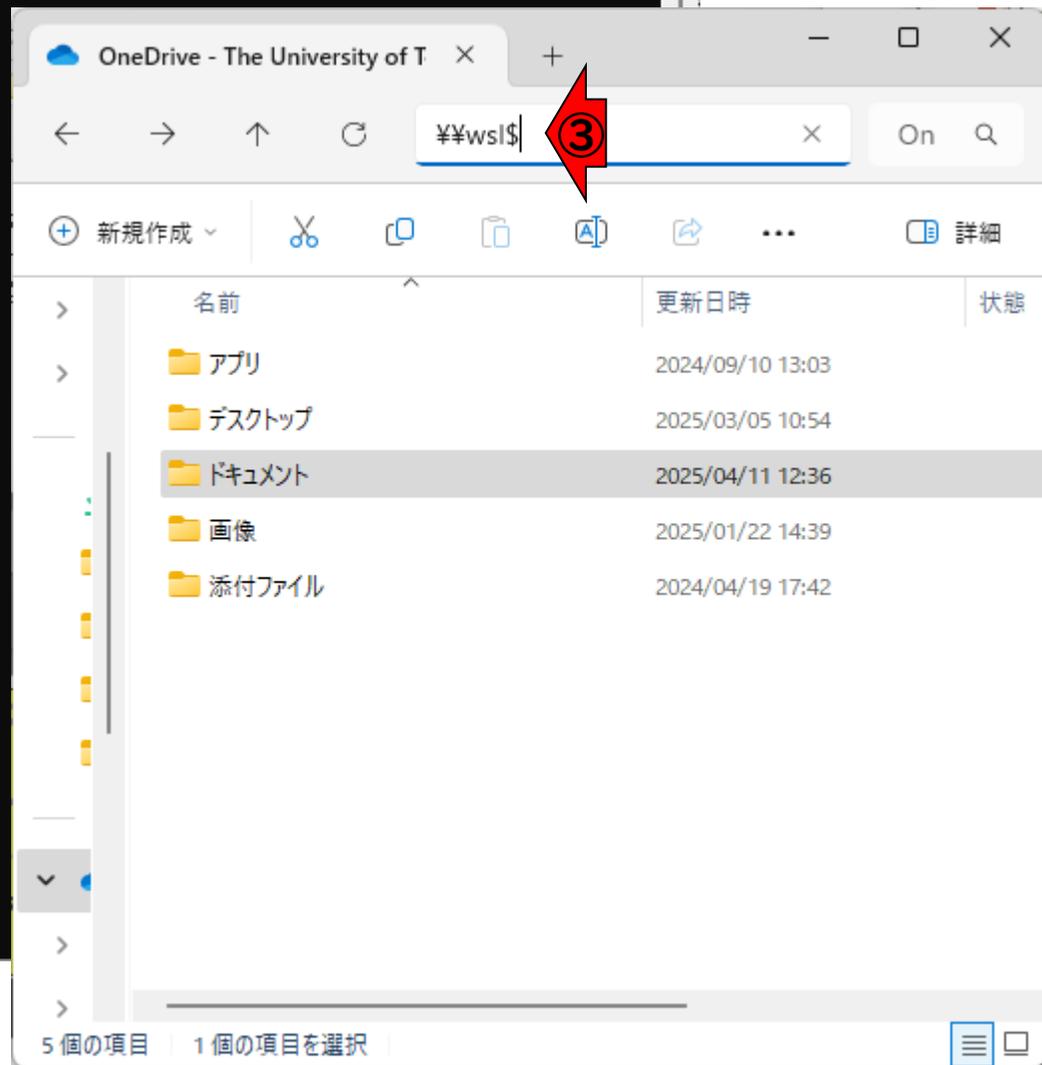
```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```



# Windowsのエクスプローラで… 3

①の場所へのアクセス法です。まず、赤枠のエクスプローラを開きます。②のアドレスバーに、③「¥¥wsl\$」と打ち込んでリターン。

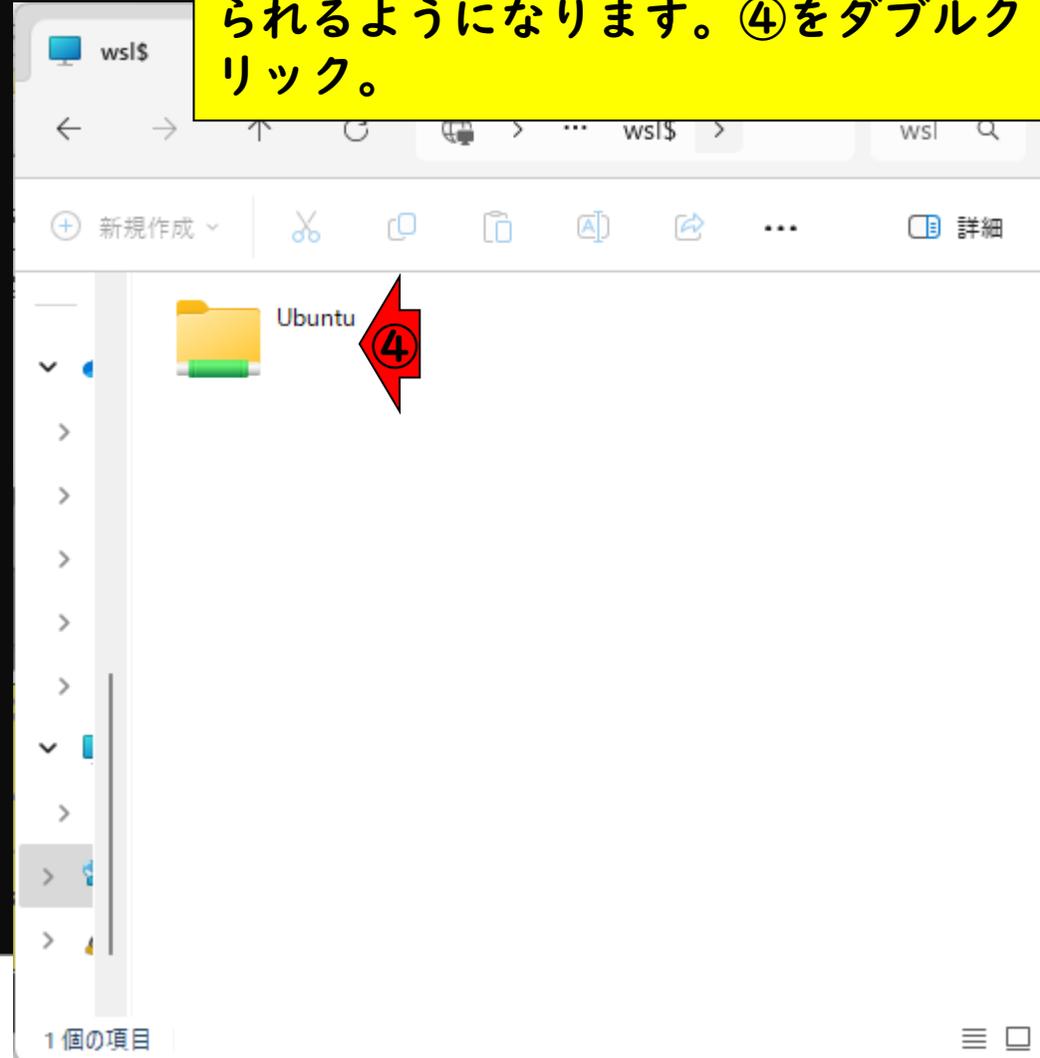
```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```



# Windowsのエクスプローラで… 4

①の場所へのアクセス法です。まず、赤枠のエクスプローラを開きます。②のアドレスバーに、③「¥¥wsl\$」と打ち込んでリターン。すぐにこんな感じになり、④Ubuntuというフォルダが見られるようになります。④をダブルクリック。

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```



# Windowsのエクスプローラで… 5

こんな感じになります。⑤で見えているhomeフォルダが、⑥に対応します。⑤をダブルクリック。

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```

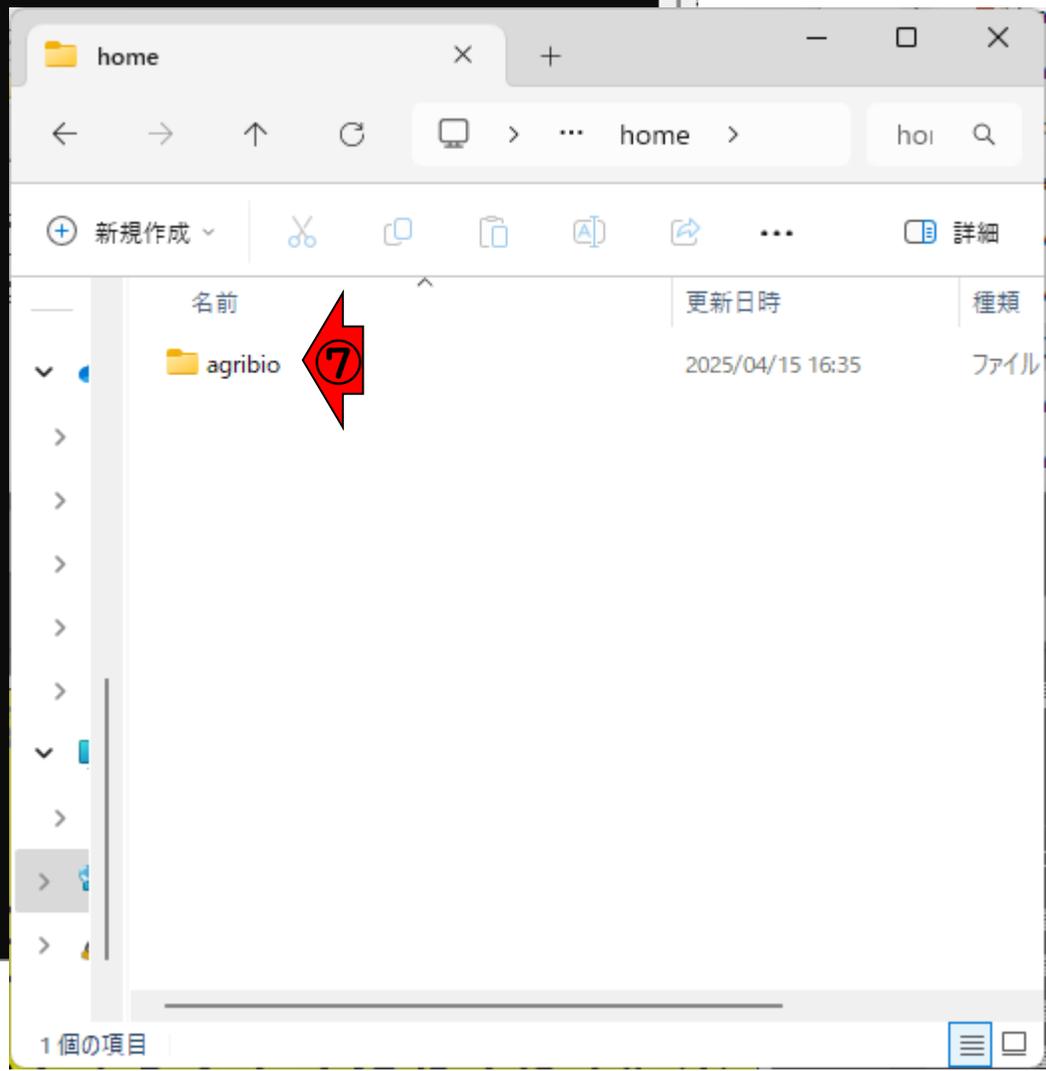


名前	更新日時	種類
bin.usr-is-merged	2024/02/26 21:58	フォルダ
boot	2024/04/22 22:08	フォルダ
dev	2025/04/16 13:40	フォルダ
etc	2025/04/16 14:22	フォルダ
home	2025/04/15 15:27	フォルダ
lib.usr-is-merged	2024/04/08 23:37	フォルダ
lost+found	2025/04/15 14:23	フォルダ
media	2025/02/15 17:09	フォルダ
mnt	2025/04/15 15:12	フォルダ
opt	2025/02/15 17:09	フォルダ
proc	2025/04/16 13:40	フォルダ
root	2025/02/15 17:11	フォルダ

# Windowsのエクスプローラで… 6

こんな感じになり、⑦agribioフォルダが見られます。これが⑧に対応し、agribioというユーザのホームディレクトリです。⑦をダブルクリック。

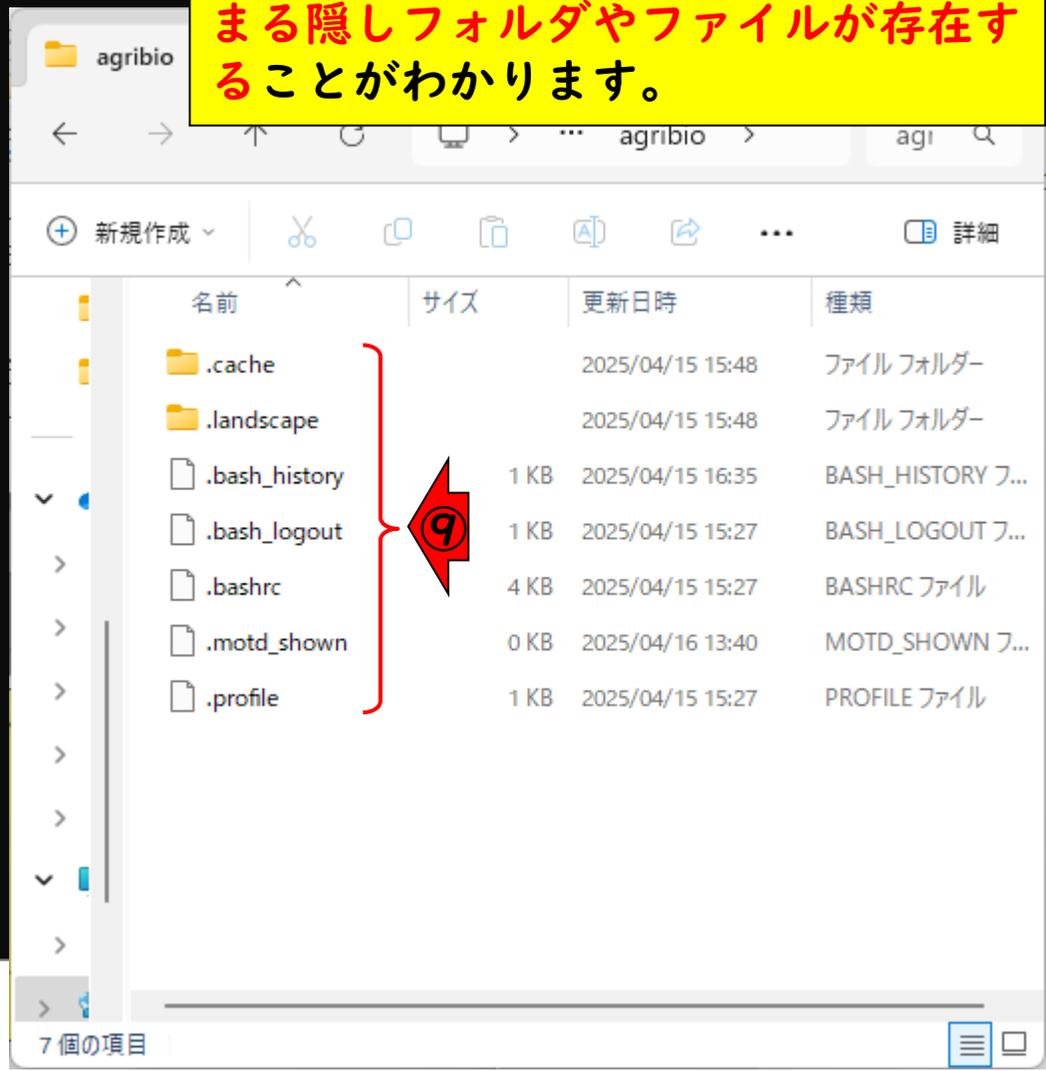
```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```



# Windowsのエクスプローラで… 7

こんな感じになり、⑦agribioフォルダが見られます。これが⑧に対応し、agribioというユーザのホームディレクトリです。⑦をダブルクリック。こんな感じになり、⑨.(どっと)から始まる隠しフォルダやファイルが存在することがわかります。

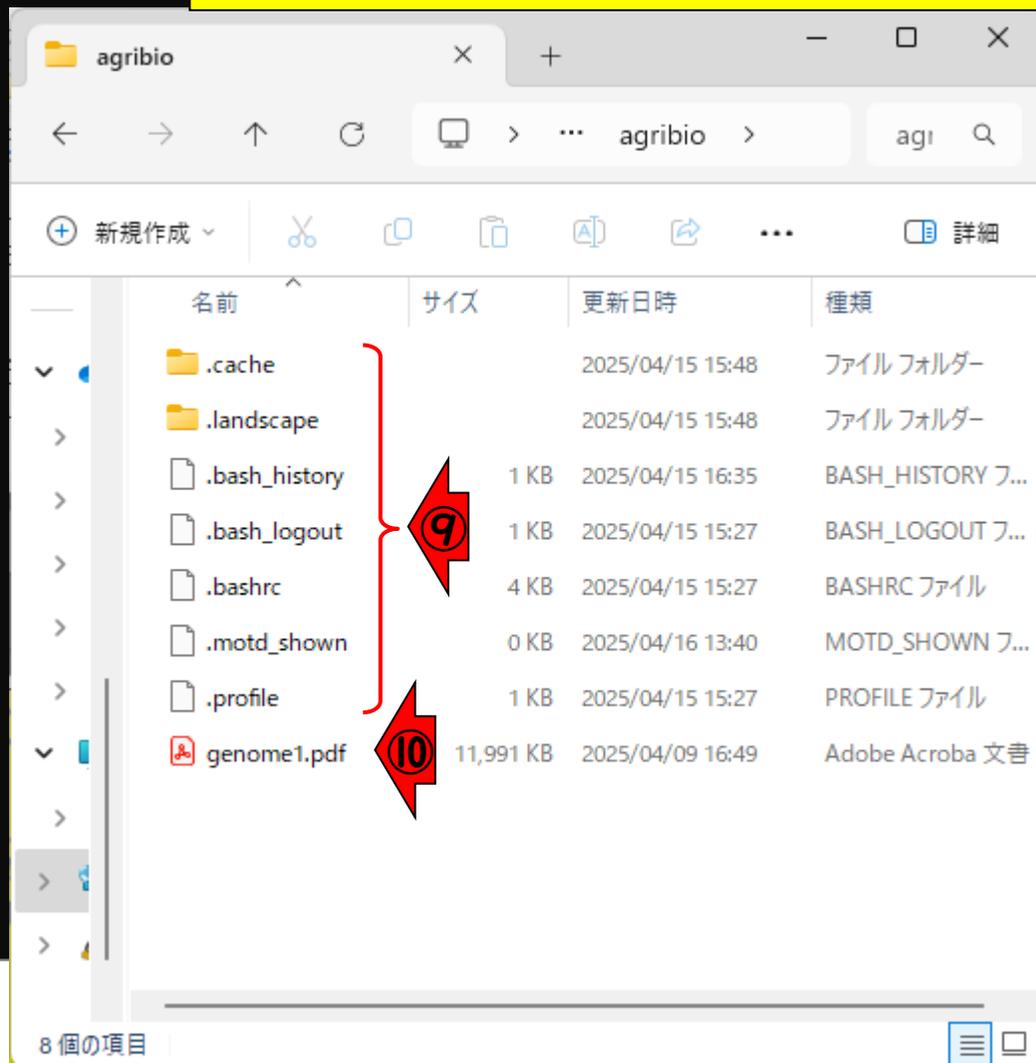
```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc: ~$ ls  
agribio@kadotapc: ~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc: ~$
```



# Windowsのエクスプローラで… 8

このホームディレクトリ上に、  
⑨.(どっと)から始まる隠しフォルダ  
やファイル以外のファイルをおいてみ  
ましょう。ここでは、⑩genome1.pdf  
をおいてみました。

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$
```



# Windowsのエクスプローラで... 9

このホームディレクトリ上に、  
⑨.(どっと)から始まる隠しフォルダ  
やファイル以外のファイルをおいてみ  
ましょう。ここでは、⑩genome1.pdf  
をおいてみました。この状態で、今  
いる場所のファイルやフォルダを  
表示する、⑪lsコマンドを再度実行。  
確かに⑩と同じgenome1.pdfが見  
えています。

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$
```



名前	サイズ	更新日時	種類
▼ .cache		2025/04/15 15:48	ファイル フォルダ
> .landscape		2025/04/15 15:48	ファイル フォルダ
> .bash_history	1 KB	2025/04/15 16:35	BASH_HISTORY フ...
> .bash_logout	1 KB	2025/04/15 15:27	BASH_LOGOUT フ...
> .bashrc	4 KB	2025/04/15 15:27	BASHRC ファイル
> .motd_shown	0 KB	2025/04/16 13:40	MOTD_SHOWN フ...
> .profile	1 KB	2025/04/15 15:27	PROFILE ファイル
▼ genome1.pdf	11,991 KB	2025/04/09 16:49	Adobe Acroba 文書



# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - **上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す**
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

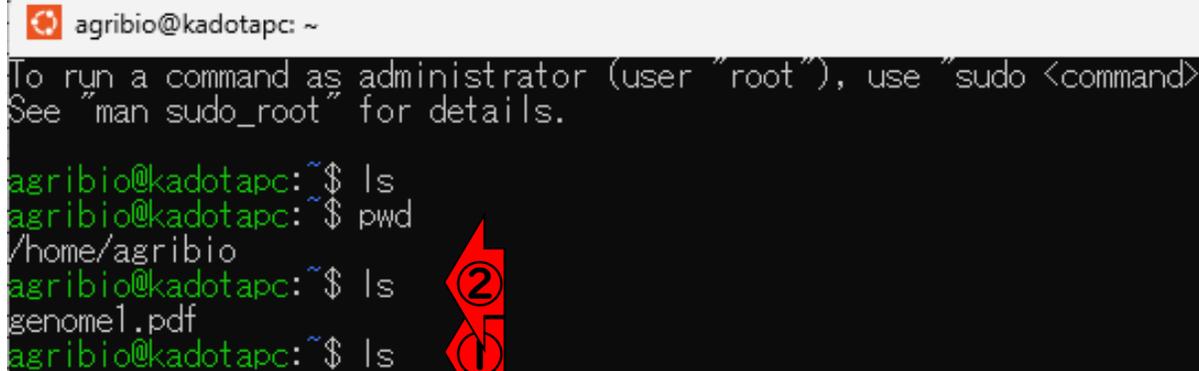
# 上下矢印キーで… |

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$
```

ここまで、「ls, pwd, ls」の順で3つのコマンドを打ちました。この程度であれば直打ちで十分ですが、実際の解析では非常に長いコマンドを打つこともあり、打ち損じてエラーが出ることもあります。そのため、「**キーボードの上矢印キーを押して、以前打ち込んだコマンドを再表示させて実行する**」テクニックがよく使われます。

# 上下矢印キーで… 2

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls
```



ここまで、「ls, pwd, ls」の順で3つのコマンドを打ちました。この程度であれば直打ちで十分ですが、実際の解析では非常に長いコマンドを打つこともあり、打ち損じてエラーが出ることもあります。そのため、「キーボードの上矢印キーを押して、以前打ち込んだコマンドを再表示させて実行する」テクニックがよく使われます。例えば上矢印キーを1回押すと、①の部分に、直前に実行した②のlsが表示されます。

# 上下矢印キーで… 3

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ pwd
```

③

①

ここまで、「ls, pwd, ls」の順で3つのコマンドを打ちました。この程度であれば直打ちで十分ですが、実際の解析では非常に長いコマンドを打つこともあり、打ち損じてエラーが出ることもあります。そのため、「キーボードの上矢印キーを押して、以前打ち込んだコマンドを再表示させて実行する」テクニックがよく使われます。例えば上矢印キーを1回押すと、①の部分に、直前に実行した②のlsが表示されます。上矢印キーをもう1回押すと、①の部分に、③のpwdが表示されます。

# 上下矢印キーで… 4

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls
```



ここまで、「ls, pwd, ls」の順で3つのコマンドを打ちました。この程度であれば直打ちで十分ですが、実際の解析では非常に長いコマンドを打つこともあり、打ち損じてエラーが出ることもあります。そのため、「キーボードの上矢印キーを押して、以前打ち込んだコマンドを再表示させて実行する」テクニックがよく使われます。例えば上矢印キーを1回押すと、①の部分に、直前に実行した②のlsが表示されます。上矢印キーをもう1回押すと、①の部分に、③のpwdが表示されます。上矢印キーをさらにもう1回押すと、①の部分に、④のlsが表示されます。行き過ぎたら、下矢印キーを押せばよいです。

# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - **clear**コマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

# clearコマンド |

赤枠のウィンドウ全体を**ターミナル**とか**端末**といいます。ここに多数のファイルを表示させたり、多数のコマンドを打ち込んでいくと、だんだん全体が見づらくなってきます。このとき、ターミナル画面全体を一旦クリアすべく、①**clear**コマンドがよく実行されます(Ctrl + LキーでもOK)。

```
agribio@kadotapc: ~  
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>  
See "man sudo_root" for details.  
agribio@kadotapc:~$ ls  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ clear
```



# clearコマンド 2

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc: ~$
```

赤枠のウィンドウ全体をターミナルとか端末といいます。ここに多数のファイルを表示させたり、多数のコマンドを打ち込んでいくと、だんだん全体が見づらくなってきます。このとき、ターミナル画面全体を一旦クリアすべく、①clearコマンドがよく実行されます(Ctrl + LキーでもOK)。実行後の状態。こんな感じになればOKです。以後は、特に断りなく適宜clearコマンドを実行します。

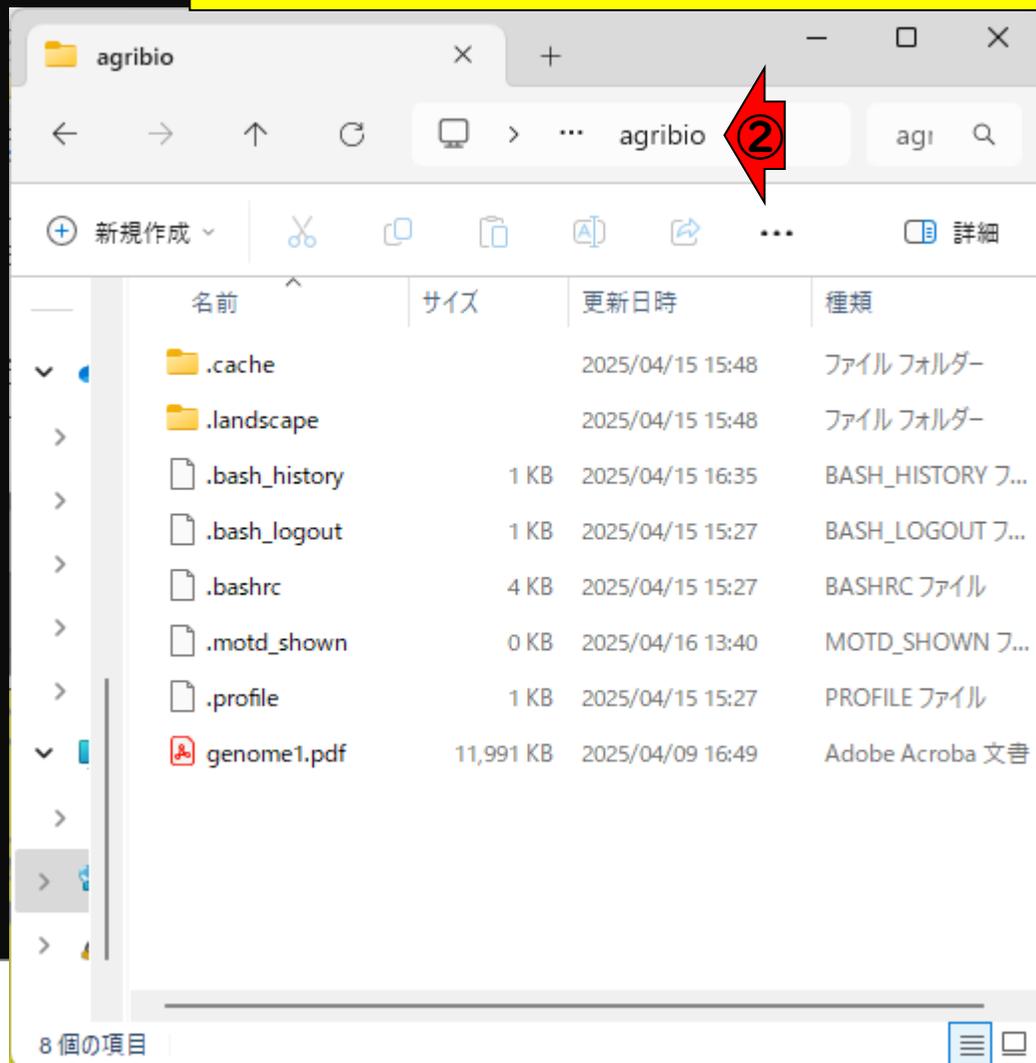
# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

# コマンドオプション |

ターミナル画面は、①pwdとlsの実行結果を表示。エクスプローラのほうも現在のディレクトリ(カレントディレクトリといいます)は、②ホームディレクトリになっています。

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc: ~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc: ~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$
```



# コマンドオプション 2

ターミナル画面は、①pwdとlsの実行結果を表示。エクスプローラのほうも現在のディレクトリ(カレントディレクトリといいます)は、②ホームディレクトリになっています。lsコマンドで実際にターミナル画面に表示されているのは③genome1.pdfのみであり、④の隠しフォルダやファイルは表示されていないことがわかります。

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc: ~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc: ~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$
```

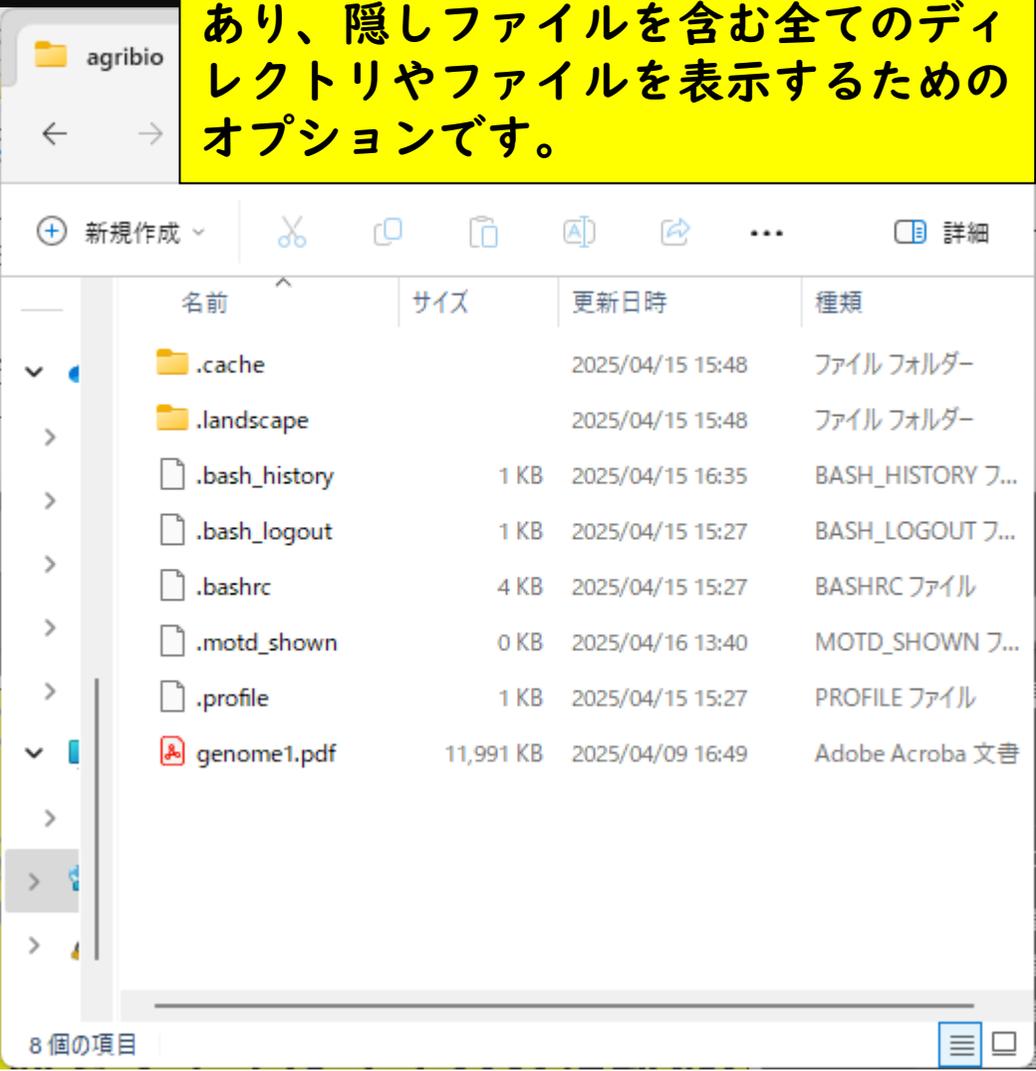


名前	サイズ	更新日時	種類
フォルダ .cache		2025/04/15 15:48	ファイル フォルダ
フォルダ .landscape		2025/04/15 15:48	ファイル フォルダ
ファイル .bash_history	1 KB	2025/04/15 16:35	BASH_HISTORY フ...
ファイル .bash_logout	1 KB	2025/04/15 15:27	BASH_LOGOUT フ...
ファイル .bashrc	4 KB	2025/04/15 15:27	BASHRC ファイル
ファイル .motd_shown	0 KB	2025/04/16 13:40	MOTD_SHOWN フ...
ファイル .profile	1 KB	2025/04/15 15:27	PROFILE ファイル
ファイル genome1.pdf	11,991 KB	2025/04/09 16:49	Adobe Acroba 文書

# コマンドオプション 3

多くのLinuxコマンドにはオプションがあります。例えば、lsにはaオプションやl(える)オプションがあり、併用もできます。⑤「ls -a」は、aオプションの使用例です。aはallの略であり、隠しファイルを含む全てのディレクトリやファイルを表示するためのオプションです。

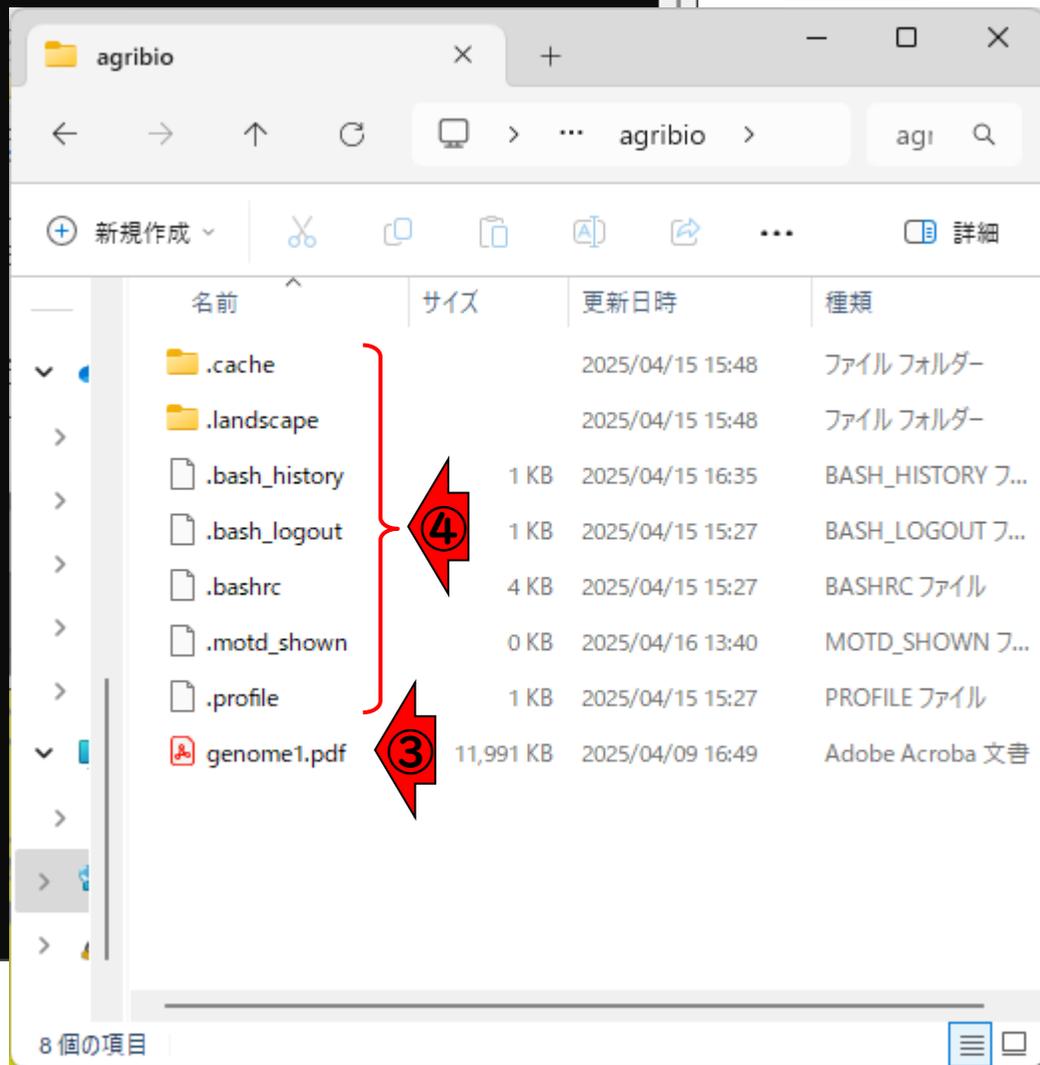
```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc: ~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc: ~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$ ls -a
```



# コマンドオプション 4

実行結果。確かに③通常のファイルも、④隠しファイルも全て表示されていることがわかります。

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc: ~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc: ~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$ ls -a  
. .bash_history .bashrc .landscape .profile  
.. .bash_logout .cache .motd_shown genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$
```



# コマンドオプション 5

次は、⑥「ls -l」。「えるえす、スペース、ハイフン、える」です。lは、longの略で、より長い情報(詳細な情報)を得たい場合によく利用します。

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -a  
.  .bash_history  .bashrc  .landscape  .profile  
.. .bash_logout  .cache    motd_shown  genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -l  
total 11992  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$
```

⑥

# コマンドオプション 6

次は、⑥「ls -l」。「えるえす、スペース、ハイフン、える」です。lは、longの略で、より長い情報(詳細な情報)を得たい場合によく利用します。

確かに、エクスプローラで見えている⑦更新日時とファイルサイズの情報、⑧の情報とよく似ていることがわかります。

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc: ~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc: ~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$ ls -a  
.  .bash_history  .bashrc  .landscape  .profile  
.. .bash_logout  .cache    .motd_shown genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$ ls -l  
total 11992  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$
```



名前	サイズ	更新日時	種類
フォルダ .cache		2025/04/15 15:48	ファイル フォルダ
フォルダ .landscape		2025/04/15 15:48	ファイル フォルダ
ファイル .bash_history	1 KB	2025/04/15 16:35	BASH_HISTORY フ...
ファイル .bash_logout	1 KB	2025/04/15 15:27	BASH_LOGOUT フ...
ファイル .bashrc	4 KB	2025/04/15 15:27	BASHRC ファイル
ファイル .motd_shown	0 KB	2025/04/16 13:40	MOTD_SHOWN フ...
ファイル .profile	1 KB	2025/04/15 15:27	PROFILE ファイル
ファイル genome1.pdf	11,991 KB	2025/04/09 16:49	Adobe Acroba 文書

# コマンドオプション 7

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc: ~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc: ~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$ ls -a  
. .bash_history .bashrc .landscape .profile  
.. .bash_logout .cache .motd_shown genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$ ls -l  
total 11992  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr 9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$ ls -la  
total 12024  
drwxr-x--- 4 agribio agribio 4096 Apr 16 16:44 .  
drwxr-xr-x 3 root root 4096 Apr 15 15:27 ..  
-rw----- 1 agribio agribio 8 Apr 15 16:35 .bash_history  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 220 Apr 15 15:27 .bash_logout  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 3771 Apr 15 15:27 .bashrc  
drwx----- 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .cache  
drwxr-xr-x 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .landscape  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 0 Apr 16 13:40 .motd_shown  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 807 Apr 15 15:27 .profile  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr 9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc: ~$
```

次は、⑥「ls -l」。「えるえす、スペース、ハイフン、える」です。lは、longの略で、より長い情報(詳細な情報)を得たい場合によく利用します。確かに、エクスプローラで見えている⑦更新日時とファイルサイズの情報、⑧の情報とよく似ていることがわかります。⑨のようにlとaオプションを併用することで、隠しファイルの詳細な情報も同時に表示させることができます。オプションの順番は気にする必要はなく、「ls -al」でもかまいません。

# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

さきほどの①「ls -la」実行結果の続き。②のあたりの話をします。

# cdコマンドで… |

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -a  
. .bash_history .bashrc .landscape .profile  
.. .bash_logout .cache .motd_shown genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -l  
total 1192  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 2278657 Apr 9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -la  
total 12024  
drwxr-x--- 4 agribio agribio 4096 Apr 16 16:44 . }  
drwxr-xr-x 3 root root 4096 Apr 15 15:27 .. }  
-rw----- 1 agribio agribio 63 Apr 17 03:02 .bash_history  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 220 Apr 15 15:27 .bash_logout  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 3771 Apr 15 15:27 .bashrc  
drwx----- 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .cache  
drwxr-xr-x 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .landscape  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 0 Apr 17 11:11 .motd_shown  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 807 Apr 15 15:27 .profile  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr 9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$
```



# cdコマンドで… 2

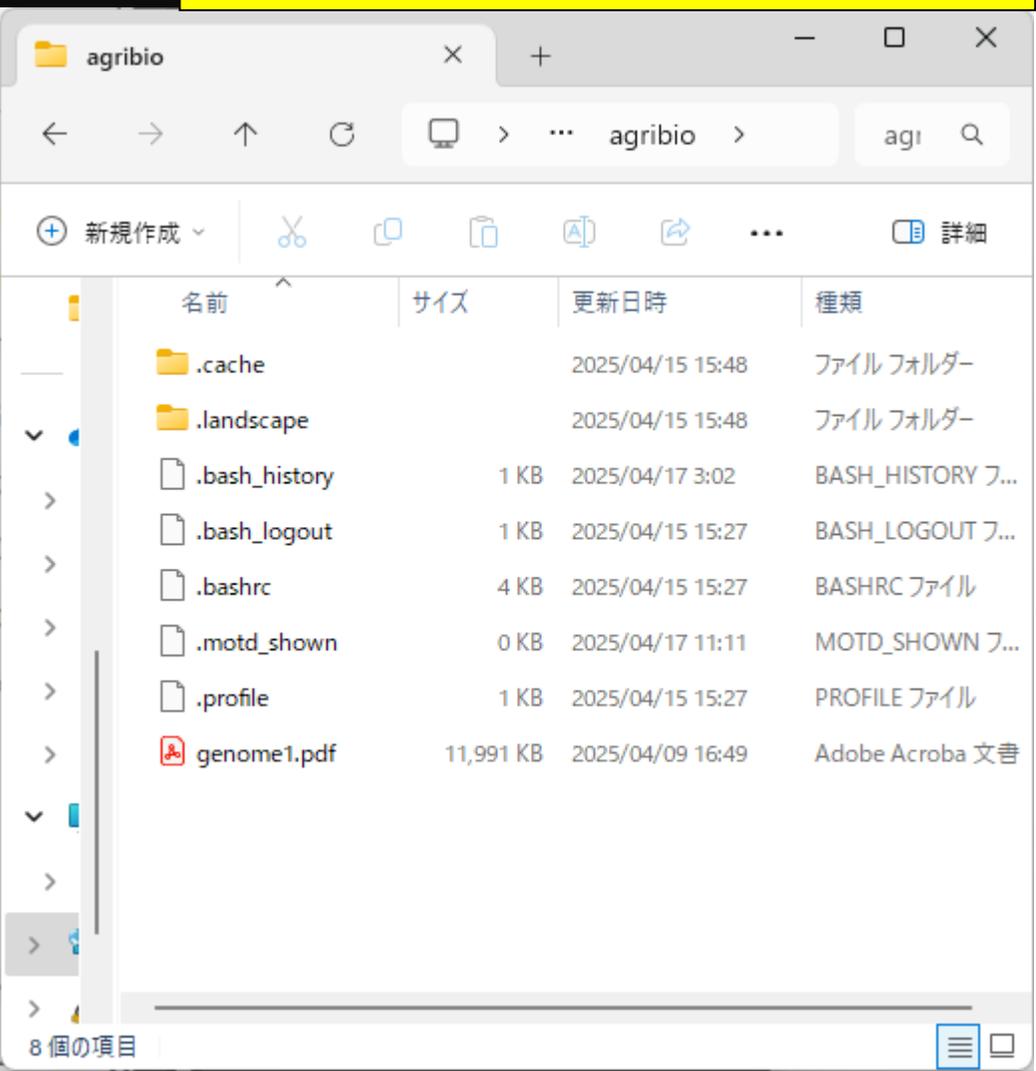
さきほどの①「ls -la」実行結果の続き。②のあたりの話をします。  
③.(どっと)は、現在のディレクトリ(つまりカレントディレクトリ)のことです。

```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -a  
.  .bash_history  .bashrc  .landscape  .profile  
.. .bash_logout  .cache  .motd_shown  genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -l  
total 1192  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -la  
total 12024  
drwxr-x--- 4 agribio agribio  4096 Apr 16 16:44 . ③  
drwxr-xr-x 3 root    root    4096 Apr 15 15:27 ..  
-rw----- 1 agribio agribio    63 Apr 17 03:02 .bash_history  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio   220 Apr 15 15:27 .bash_logout  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio  3771 Apr 15 15:27 .bashrc  
drwx----- 2 agribio agribio  4096 Apr 15 15:48 .cache  
drwxr-xr-x 2 agribio agribio  4096 Apr 15 15:48 .landscape  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio     0 Apr 17 11:11 .motd_shown  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio   807 Apr 15 15:27 .profile  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$
```

# cdコマンドで… 3

ここはagribioさんのホームディレクトリなので、④1番左がディレクトリ(directory)を意味するdに、そして⑤の部分がagribioになっていると解釈すればよいです。

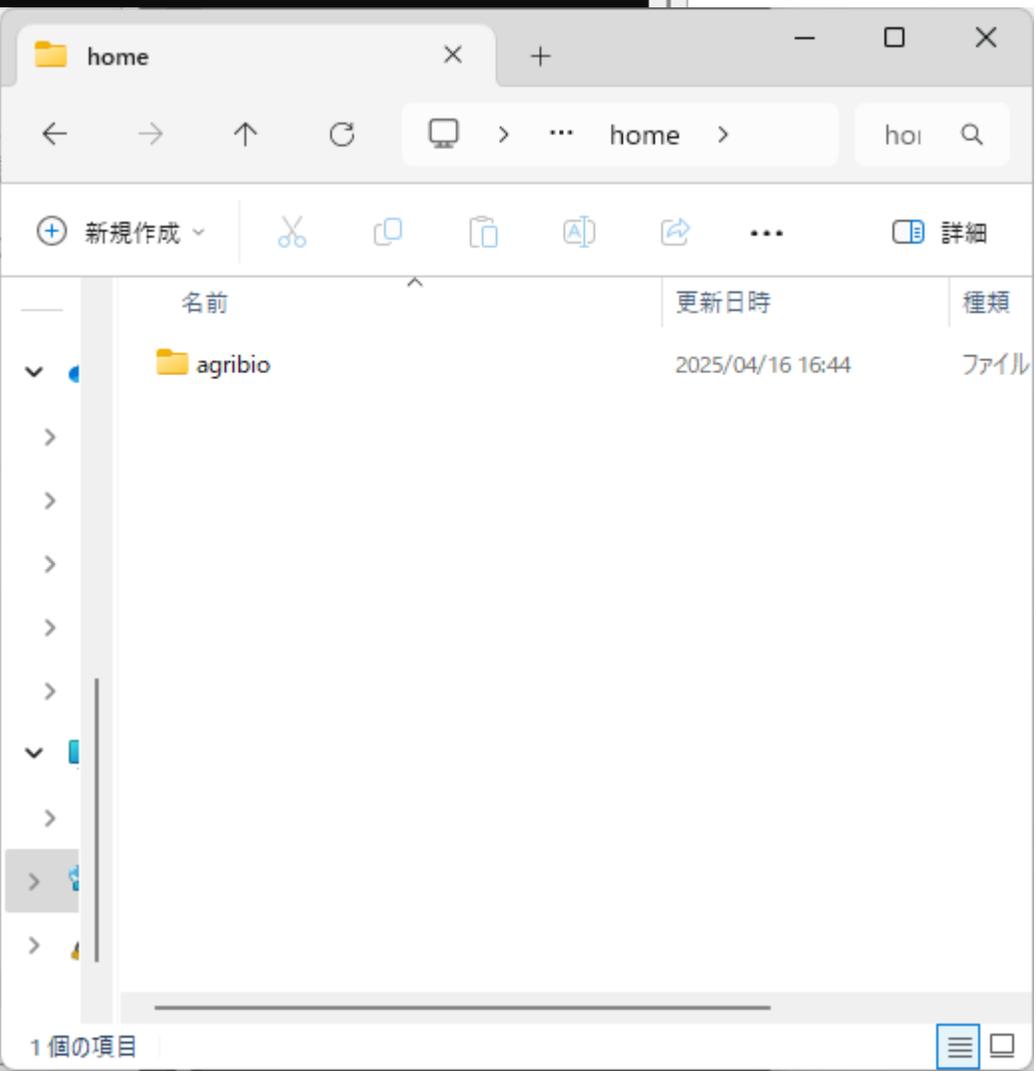
```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -a  
. .bash_history .bashrc .landscape .profile  
.. .bash_logout .cache .motd_shown genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -l  
total 11992  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -la  
total 12024  
drwxr-x--- 4 agribio agribio 4096 Apr 16 16:44 .  
drwxr-xr-x 3 root root 4096 Apr 15 15:27 ..  
-rw----- 1 agribio agribio 63 Apr 17 03:02 .bash_h  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 220 Apr 15 15:27 .bash_l  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 3771 Apr 15 15:27 .bashrc  
drwx----- 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .cache  
drwxr-xr-x 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .landsc  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 0 Apr 17 11:11 .motd_s  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 807 Apr 15 15:27 .profil  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$
```



# cdコマンドで... 4

⑥..(どっとどっと)は、1つ上のディレクトリのことです。この場合は、⑦homeという名前のディレクトリのことです。

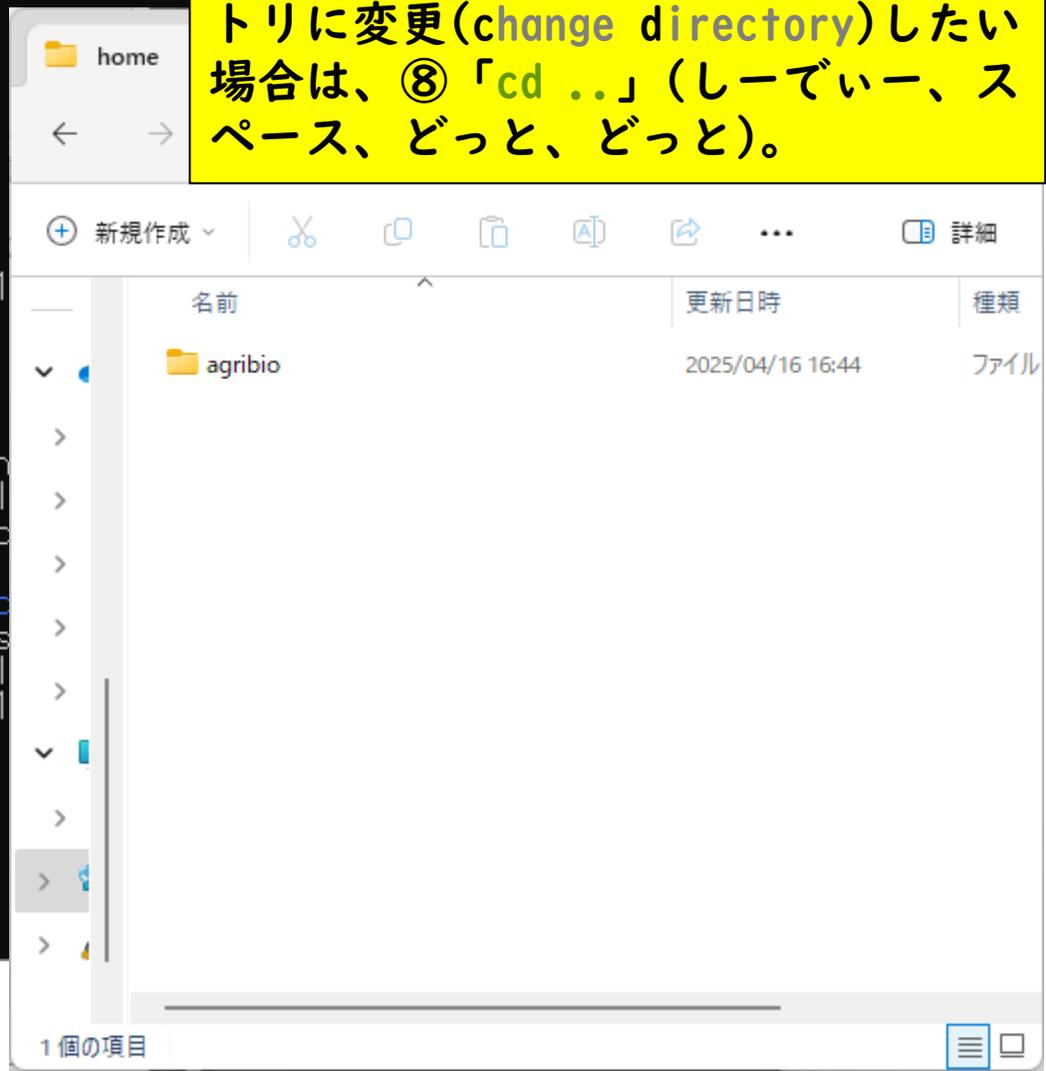
```
agribio@kadotapc: ~  
agribio@kadotapc:~$ pwd  
/home/agribio  
agribio@kadotapc:~$ ls  
genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -a  
. .bash_history .bashrc .landscape .profile  
.. .bash_logout .cache .motd_shown genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -l  
total 11992  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$ ls -la  
total 12024  
drwxr-x--- 4 agribio agribio 4096 Apr 16 16:44 .  
drwxr-xr-x 3 root root 4096 Apr 15 15:27 ..  
-rw----- 1 agribio agribio 63 Apr 17 03:02 .bash_in  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 220 Apr 15 15:27 .bash_l  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 3771 Apr 15 15:27 .bashrc  
drwx----- 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .cache  
drwxr-xr-x 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .landsc  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 0 Apr 17 11:11 .motd_s  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 807 Apr 15 15:27 .profil  
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf  
agribio@kadotapc:~$
```



# cdコマンドで... 5

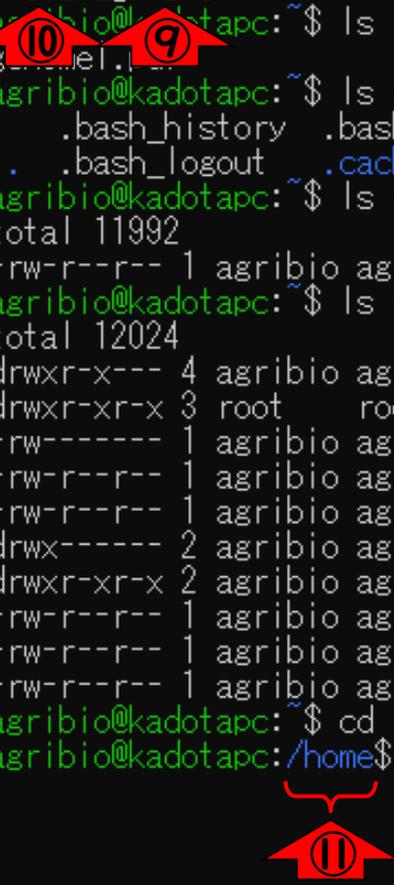
```
agribio@kadotapc: /home
agribio@kadotapc: ~$ pwd
/home/agribio
agribio@kadotapc: ~$ ls
genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -a
.  .bash_history  .bashrc  .landscape  .profile
.. .bash_logout  .cache  .motd_shown  genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -l
total 11992
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -la
total 12024
drwxr-x--- 4 agribio agribio 4096 Apr 16 16:44 .
drwxr-xr-x 3 root    root    4096 Apr 15 15:27 ..
-rw----- 1 agribio agribio   63 Apr 17 03:02 .bash_h
-rw-r--r-- 1 agribio agribio  220 Apr 15 15:27 .bash_l
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 3771 Apr 15 15:27 .bashrc
drwx----- 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .cache
drwxr-xr-x 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .landsc
-rw-r--r-- 1 agribio agribio    0 Apr 17 11:11 .motd_s
-rw-r--r-- 1 agribio agribio  807 Apr 15 15:27 .profil
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ cd ..
agribio@kadotapc: /home$
```

⑥..(どっとどっと)は、1つ上のディレクトリのことです。この場合は、⑦ homeという名前のディレクトリのことです。作業ディレクトリ(カレントディレクトリ)を⑦の1つ上のディレクトリに変更(change directory)したい場合は、⑧「cd ..」(しーでいー、スペース、どっと、どっと)。

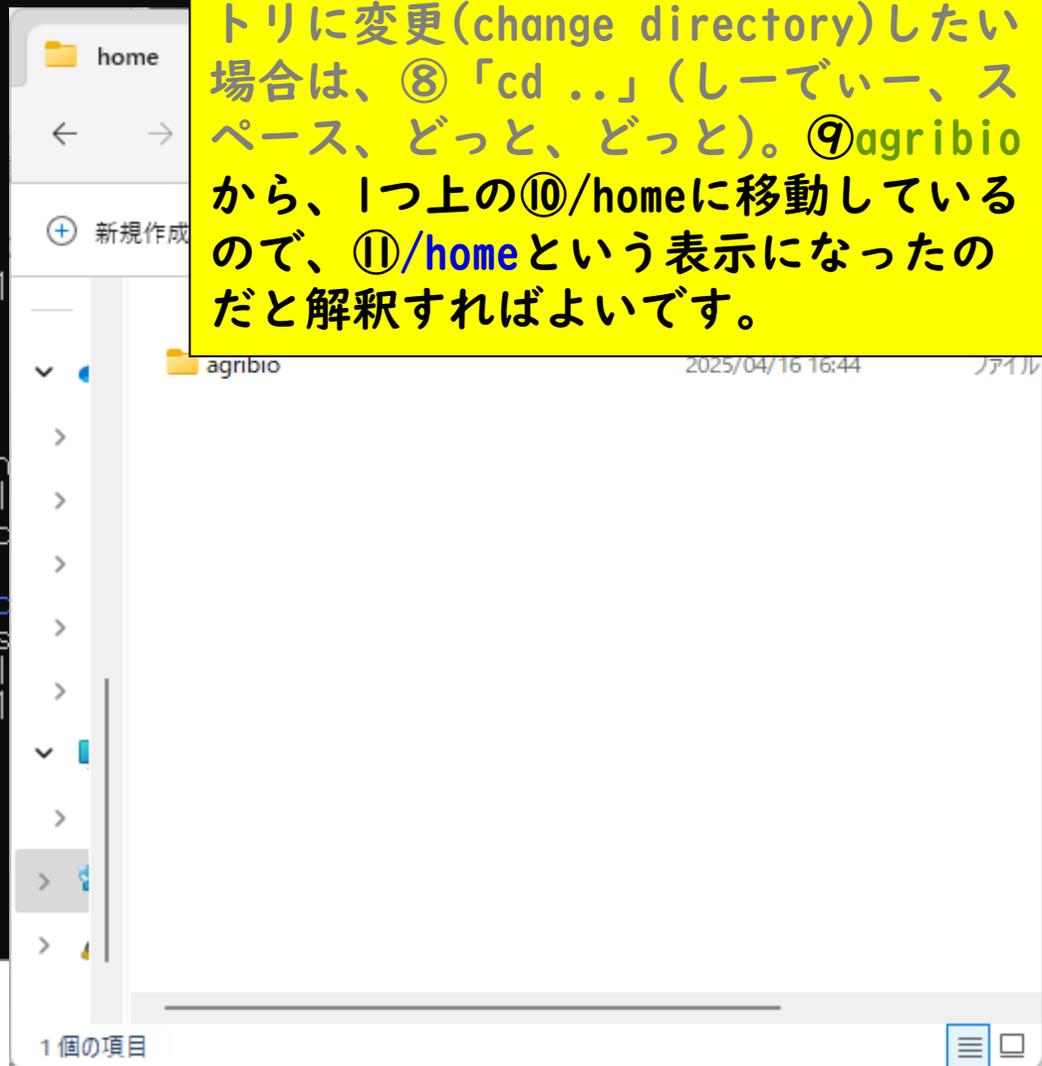


# cdコマンドで... 6

```
agribio@kadotapc: /home
agribio@kadotapc: ~$ pwd
/home/agribio
agribio@kadotapc: ~$ ls
genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -a
. .bash_history .bashrc .landscape .profile
.. .bash_logout .cache .motd_shown genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -l
total 11992
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -la
total 12024
drwxr-x--- 4 agribio agribio 4096 Apr 16 16:44 .
drwxr-xr-x 3 root root 4096 Apr 15 15:27 ..
-rw----- 1 agribio agribio 63 Apr 17 03:02 .bash_h
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 220 Apr 15 15:27 .bash_l
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 3771 Apr 15 15:27 .bashrc
drwx----- 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .cache
drwxr-xr-x 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .landsc
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 0 Apr 17 11:11 .motd_s
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 807 Apr 15 15:27 .profil
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ cd ..
agribio@kadotapc: /home$
```

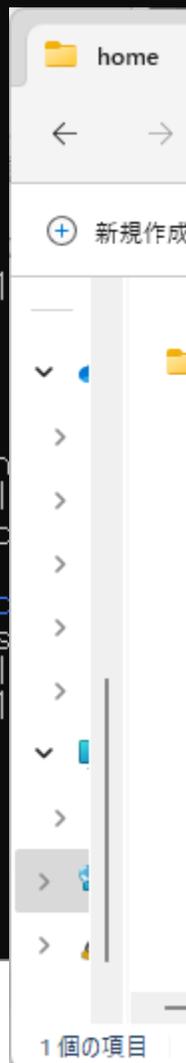


⑥..(どっとどっと)は、1つ上のディレクトリのことです。この場合は、⑦ homeという名前のディレクトリのことです。作業ディレクトリ(カレントディレクトリ)を⑦の1つ上のディレクトリに変更(change directory)したい場合は、⑧「cd ..」(しーでいー、スペース、どっと、どっと)。⑨agribioから、1つ上の⑩/homeに移動しているので、⑪/homeという表示になったのだと解釈すればよいです。



# cdコマンドで... 7

```
agribio@kadotapc: /home
agribio@kadotapc: ~$ pwd
/home/agribio
agribio@kadotapc: ~$ ls
genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -a
.  .bash_history  .bashrc  .landscape  .profile
.. .bash_logout  .cache   .motd_shown genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -l
total 11992
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -la
total 12024
drwxr-x--- 4 agribio agribio 4096 Apr 16 16:44 .
drwxr-xr-x 3 root    root    4096 Apr 15 15:27 ..
-rw----- 1 agribio agribio   63 Apr 17 03:02 .bash_h
-rw-r--r-- 1 agribio agribio  220 Apr 15 15:27 .bash_l
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 3771 Apr 15 15:27 .bashrc
drwx----- 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .cache
drwxr-xr-x 2 agribio agribio 4096 Apr 15 15:48 .landsc
-rw-r--r-- 1 agribio agribio    0 Apr 17 11:11 .motd_s
-rw-r--r-- 1 agribio agribio  807 Apr 15 15:27 .profil
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ cd ..
agribio@kadotapc: /home$
```

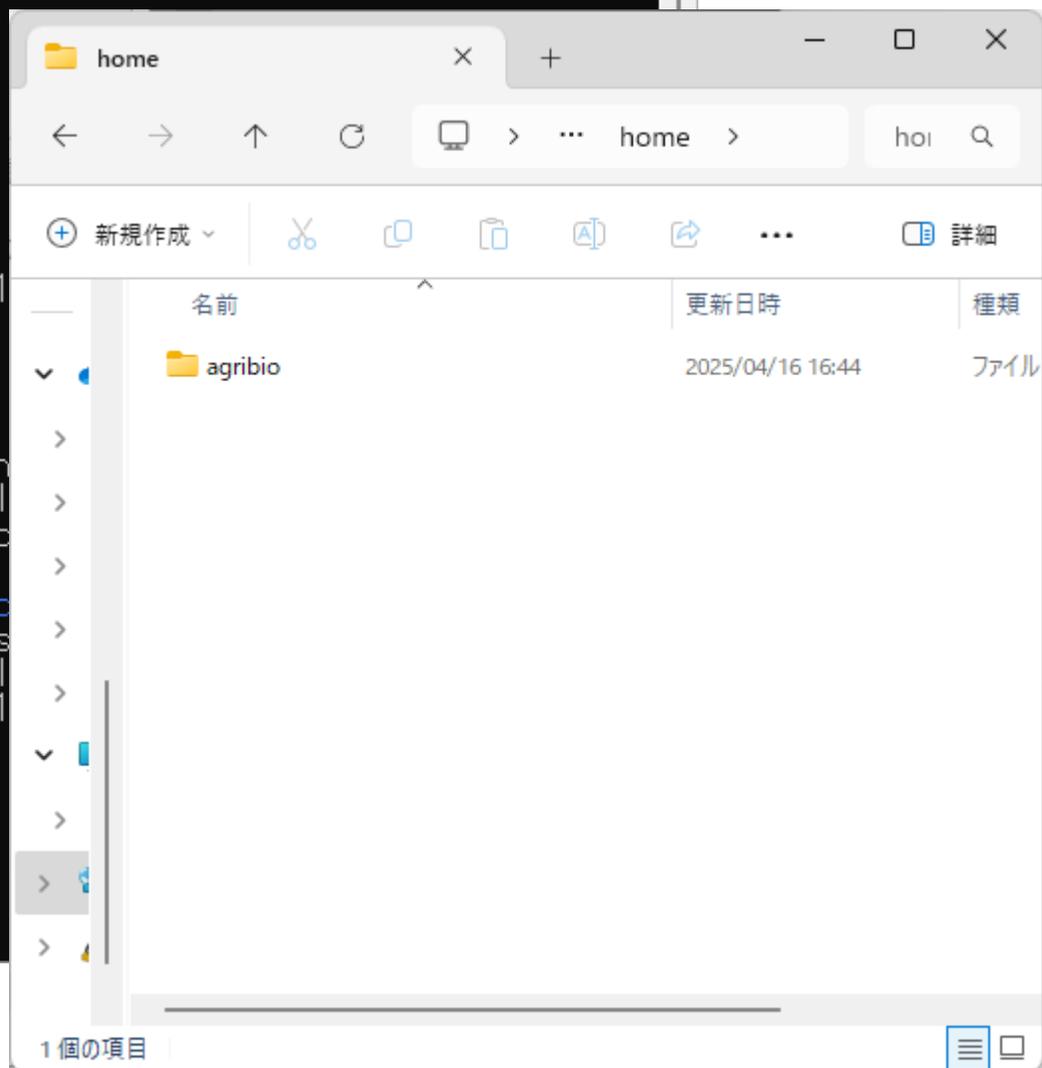


⑥..(どっとどっと)は、1つ上のディレクトリのことです。この場合は、⑦ homeという名前のディレクトリのことです。作業ディレクトリ(カレントディレクトリ)を⑦の1つ上のディレクトリに変更(change directory)したい場合は、⑧「cd ..」(しーでいー、スペース、どっと、どっと)。⑨agribioから、1つ上の⑩/homeに移動しているので、⑪/homeという表示になったのだと解釈すればよいです。また、これまでずっと見えていた⑫~(ちるだ)は、agribioさんのホームディレクトリ(つまり/home/agribio)に相当するものです。

# cdコマンドで... 8

この場所(/home)で、①ls。/home直下にはagribioというディレクトリしか存在しないので、表示結果としてagribioしか見られないのは妥当です。

```
agribio@kadotapc: /home
agribio@kadotapc: ~$ pwd
/home/agribio
agribio@kadotapc: ~$ ls
genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -a
.  .bash_history  .bashrc  .landscape  .profile
.. .bash_logout  .cache    .motd_shown genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -l
total 11992
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ ls -la
total 12024
drwxr-x--- 4 agribio agribio  4096 Apr 16 16:44 .
drwxr-xr-x 3 root    root    4096 Apr 15 15:27 ..
-rw----- 1 agribio agribio    63 Apr 17 03:02 .bash_h
-rw-r--r-- 1 agribio agribio   220 Apr 15 15:27 .bash_l
-rw-r--r-- 1 agribio agribio  3771 Apr 15 15:27 .bashrc
drwx----- 2 agribio agribio  4096 Apr 15 15:48 .cache
drwxr-xr-x 2 agribio agribio  4096 Apr 15 15:48 .landsc
-rw-r--r-- 1 agribio agribio     0 Apr 17 11:11 .motd_s
-rw-r--r-- 1 agribio agribio   807 Apr 15 15:27 .profil
-rw-r--r-- 1 agribio agribio 12278657 Apr  9 16:49 genome1.pdf
agribio@kadotapc: ~$ cd ..
agribio@kadotapc: /home$ ls
agribio
agribio@kadotapc: /home$
```



# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

# explorer.exeで… |

```
agribio@kadotapc: /home
agribio@kadotapc:/home$ pwd
/home
agribio@kadotapc:/home$ ls
agribio
agribio@kadotapc:/home$ explorer.exe .
agribio@kadotapc:/home$
```



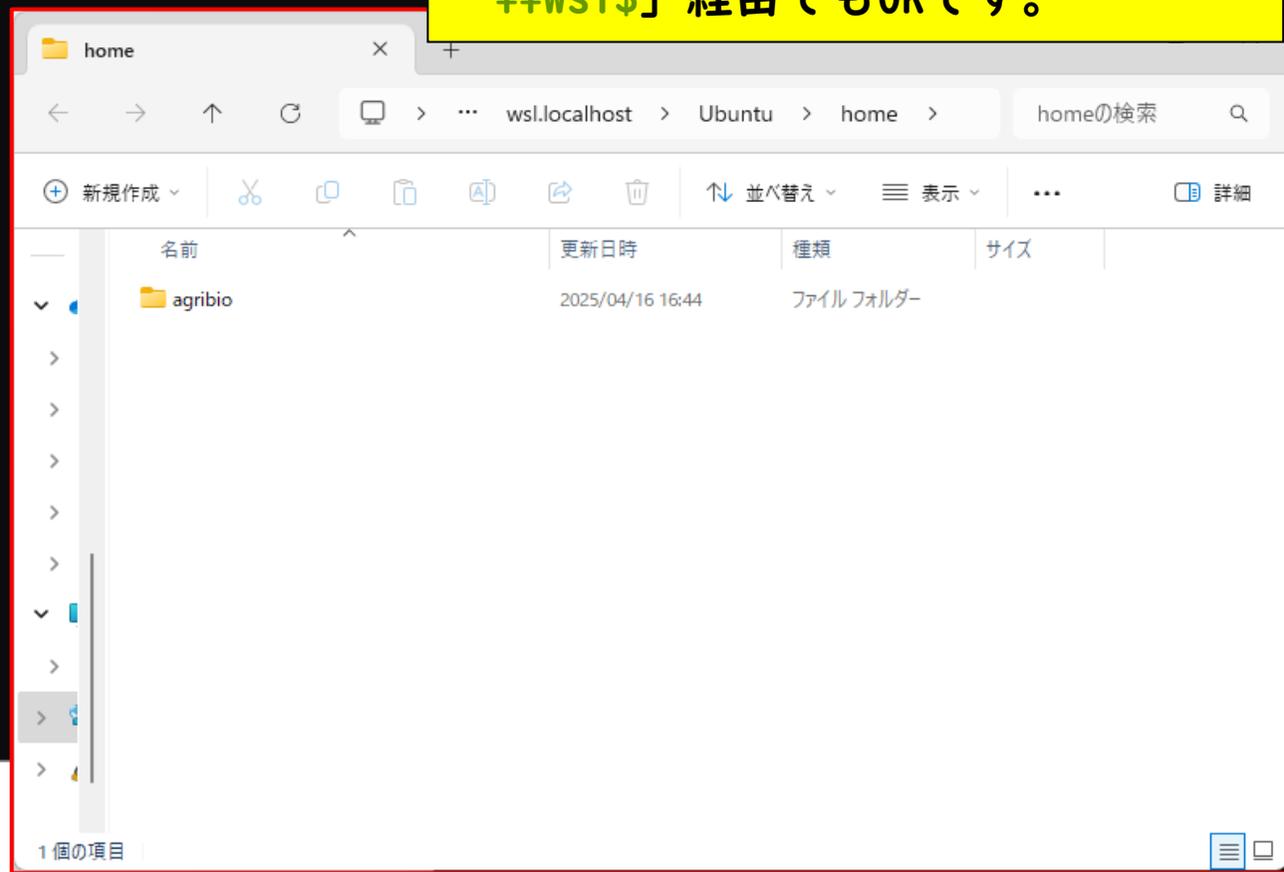
現在の作業ディレクトリ(カレントディレクトリ)は、`/home`。この場所(つまり.)のエクスプローラを開きたい場合は「`explorer.exe .`」。`explorer.exe`がコマンドで、その後にある.`.`が開く場所の情報に相当します。

# explorer.exeで… 2

```
agribio@kadotapc: /home
agribio@kadotapc: /home$ pwd
/home
agribio@kadotapc: /home$ ls
agribio
agribio@kadotapc: /home$ explorer.exe .
agribio@kadotapc: /home$
```

現在の作業ディレクトリ(カレントディレクトリ)は、/home。この場所(つまり.)のエクスプローラを開きたい場合は「explorer.exe .」。

explorer.exeがコマンドで、その後にある.が開く場所の情報に相当します。すぐに赤枠で示すような新規エクスプローラが開きます。もちろん、前述の「¥¥wsl\$」経由でもOKです。



# Contents

- はじめに(LinuxとWSLとUbuntuの関係性)
- Ubuntuのインストール
- Ubuntuの初期設定
- Ubuntuの起動と終了
- 基本的な利用法
  - lsとpwdコマンド
  - WindowsのエクスプローラでLinuxの任意の場所を眺める
  - 上下矢印キーで以前打ったコマンドを呼び出す
  - clearコマンドでターミナル画面のクリア
  - コマンドオプション(ls -a、ls -l、ls -la)
  - cdコマンドでディレクトリの変更
  - explorer.exeでエクスプローラを開く(WindowsからLinuxを見る)
  - LinuxからWindowsの任意の場所にアクセスする

# LinuxからWindowsの任意の… |

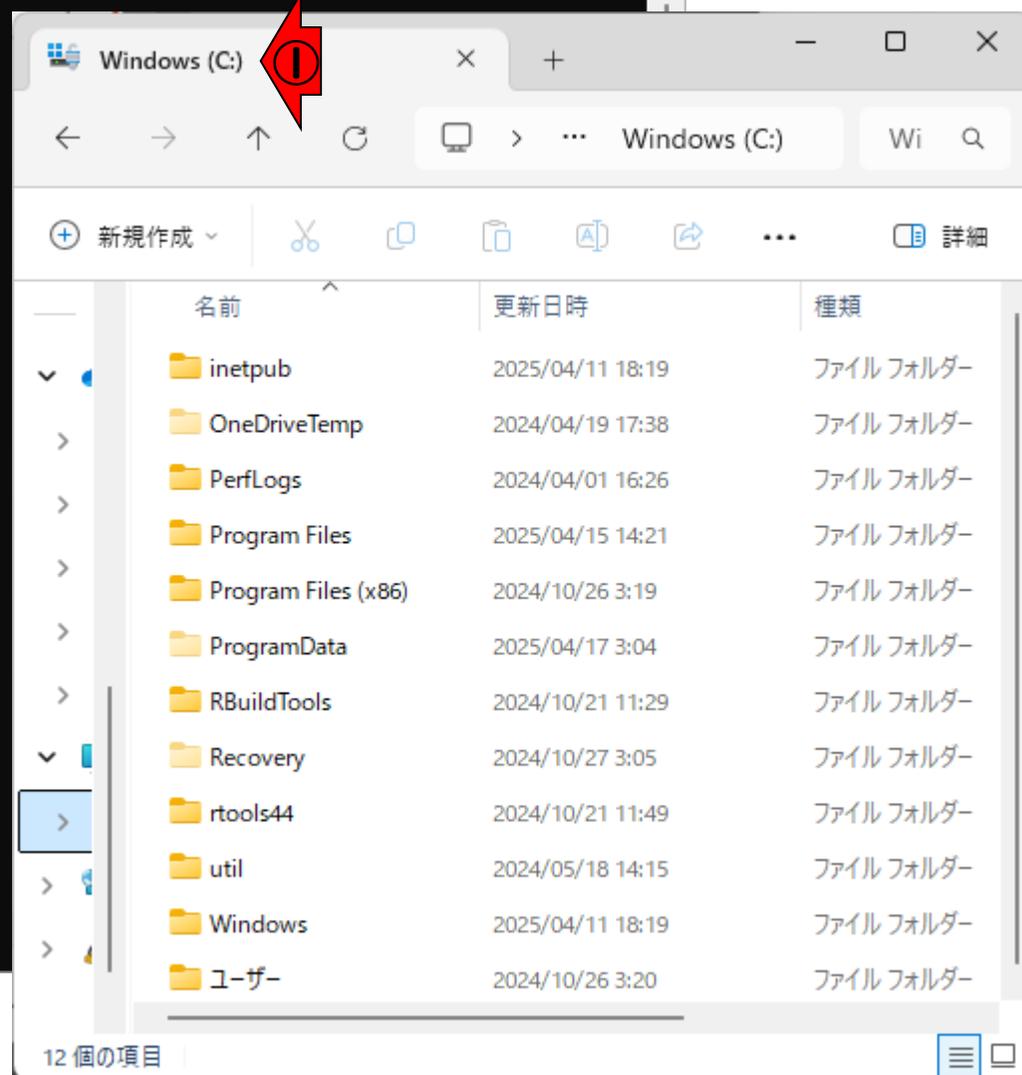
ここまではWindowsのエクスプローラ経由で、Linux側の任意の場所を眺める手段を説明してきました。次は、Linux側からWindowsの任意のフォルダにアクセスする手段を解説します。

```
agribio@kadotapc: /home  
agribio@kadotapc: /home$
```

# LinuxからWindowsの任意の… 2

ここでは、Windowsの一番大元と  
いい①Cドライブへのアクセス方法  
を示します。このPC環境では、赤枠の  
場所になります。

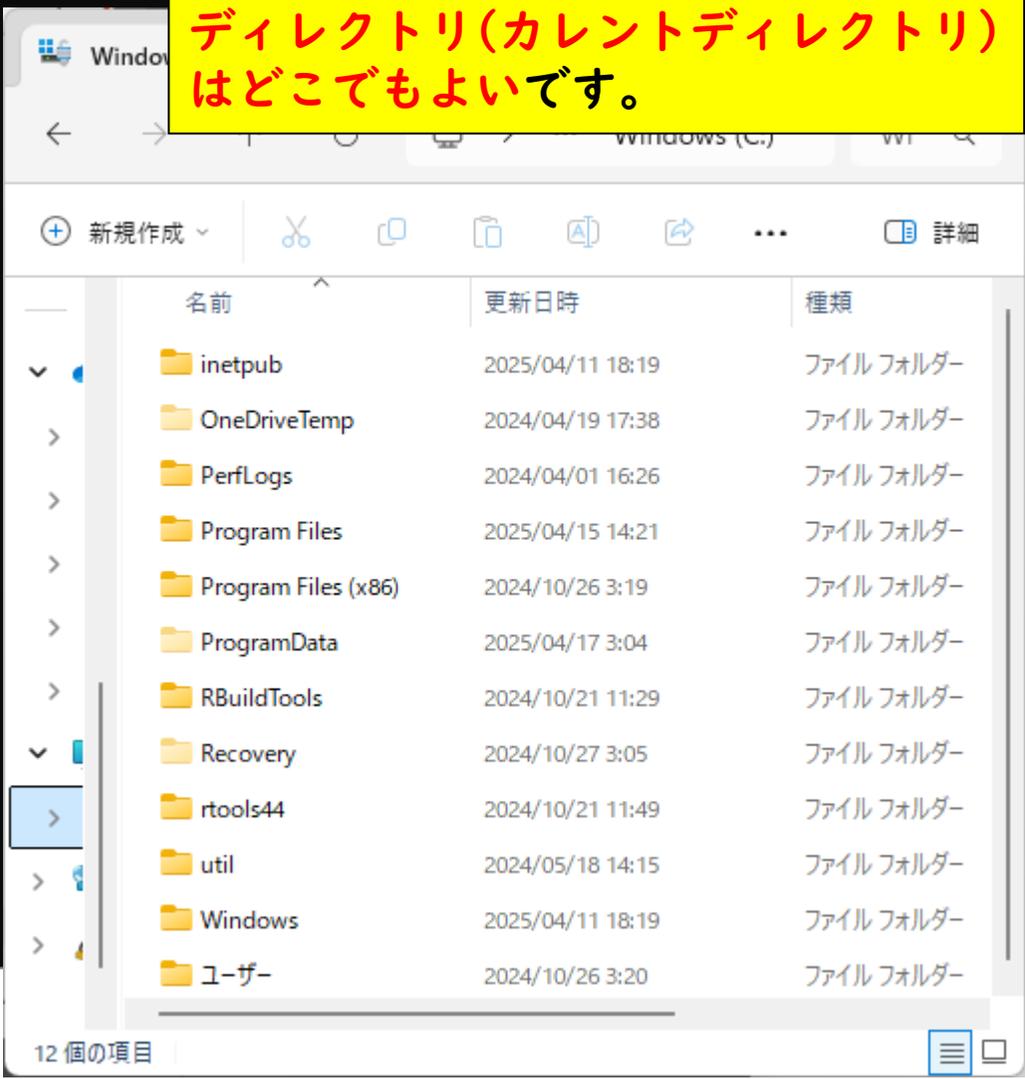
```
agribio@kadotapc: /home  
agribio@kadotapc: /home$
```



# LinuxからWindowsの任意の… 3

ここでは、Windowsの一番大元といっ  
てよい①Cドライブへのアクセス方法  
を示します。このPC環境では、赤枠の  
場所になります。ここでは②/homeに  
なっていますが、Linux側の現在の  
ディレクトリ(カレントディレクトリ)  
はどこでもよいです。

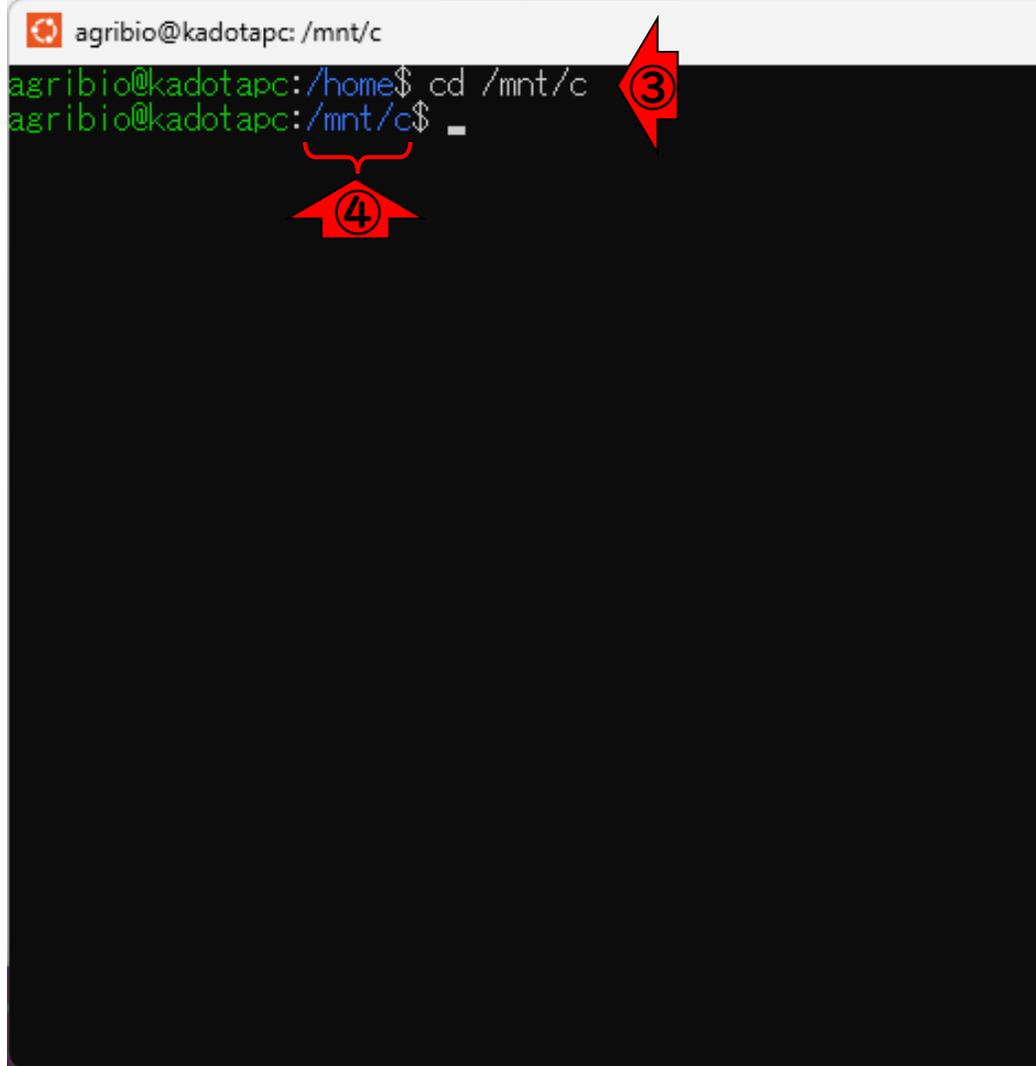
```
agribio@kadotapc: /home
agribio@kadotapc: /home$
```



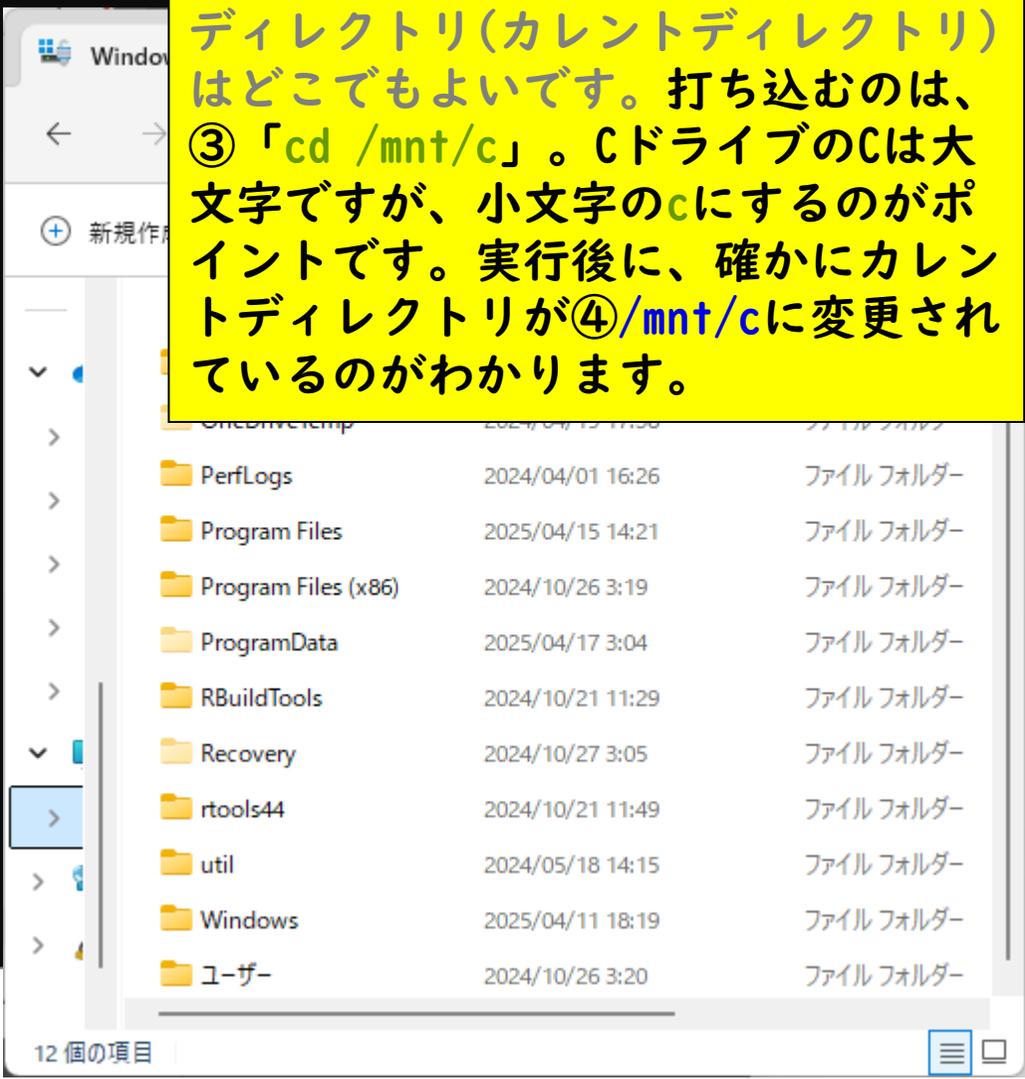
名前	更新日時	種類
inetpub	2025/04/11 18:19	ファイル フォルダー
OneDriveTemp	2024/04/19 17:38	ファイル フォルダー
PerfLogs	2024/04/01 16:26	ファイル フォルダー
Program Files	2025/04/15 14:21	ファイル フォルダー
Program Files (x86)	2024/10/26 3:19	ファイル フォルダー
ProgramData	2025/04/17 3:04	ファイル フォルダー
RBuildTools	2024/10/21 11:29	ファイル フォルダー
Recovery	2024/10/27 3:05	ファイル フォルダー
rtools44	2024/10/21 11:49	ファイル フォルダー
util	2024/05/18 14:15	ファイル フォルダー
Windows	2025/04/11 18:19	ファイル フォルダー
ユーザー	2024/10/26 3:20	ファイル フォルダー

# LinuxからWindowsの任意の… 4

```
agribio@kadotapc: /mnt/c
agribio@kadotapc: /home$ cd /mnt/c
agribio@kadotapc: /mnt/c$
```



ここでは、Windowsの一番大元といっ  
てよい①Cドライブへのアクセス方法  
を示します。このPC環境では、赤枠の  
場所になります。ここでは②/homeに  
なっていますが、Linux側の現在の  
ディレクトリ(カレントディレクトリ)  
はどこでもよいです。打ち込むのは、  
③「cd /mnt/c」。CドライブのCは大  
文字ですが、小文字のcにするのがポ  
イントです。実行後に、確かにカレン  
トディレクトリが④/mnt/cに変更され  
ているのがわかります。



# LinuxからWindowsの任意の... 5

⑤lsで中身をリストアップ。見え方はヒトそれぞれです。

```
agribio@kadotapc: /mnt/c
agribio@kadotapc: /home$ cd /mnt/c
agribio@kadotapc: /mnt/c$ ls
ls: cannot access 'DumpStack.log.tmp': Permission denied
ls: cannot access 'hiberfil.sys': Permission denied
ls: cannot access 'pagefile.sys': Permission denied
ls: cannot access 'swapfile.sys': Permission denied
$Recycle.Bin
'Documents and Settings'
DumpStack.log.tmp
OneDriveTemp
PerfLoss
'Program Files'
'Program Files (x86)'
ProgramData
RBuildTools
Recovery
'System Volume Information'
Users
Windows
hiberfil.sys
instpub
pagefile.sys
tools44
swapfile.sys
util
agribio@kadotapc: /mnt/c$
```

# LinuxからWindowsの任意の… 6

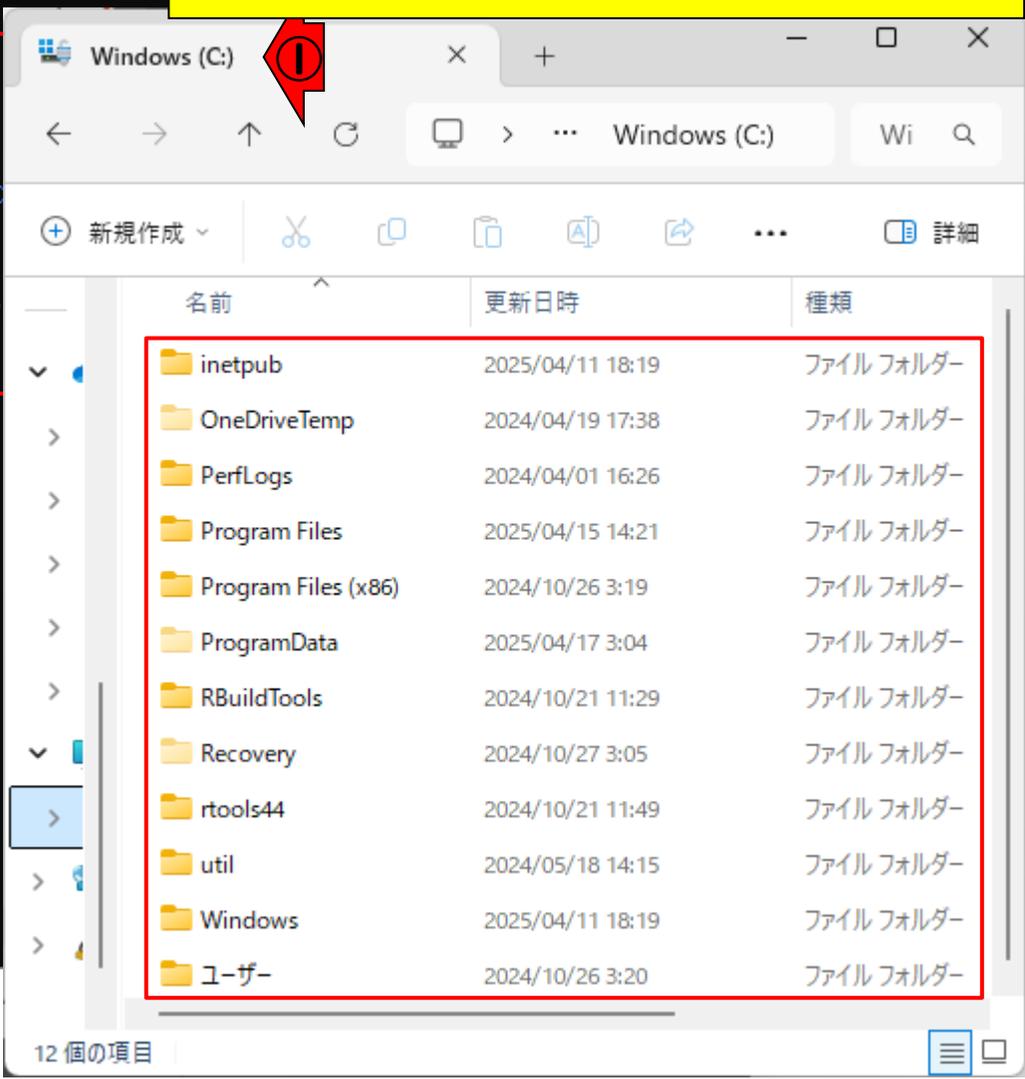
⑤lsで中身をリストアップ。見え方はヒトそれぞれです。赤枠内が表示結果。  
⑥上部にPermission denied(許可が与えられていない)というメッセージがありますが、気にしなくてよいです。

```
agribio@kadotapc: /mnt/c
agribio@kadotapc: /home$ cd /mnt/c
agribio@kadotapc: /mnt/c$ ls
ls: cannot access 'DumpStack.log.tmp': Permission denied
ls: cannot access 'hiberfil.sys': Permission denied
ls: cannot access 'pagefile.sys': Permission denied
ls: cannot access 'swapfile.sys': Permission denied
$Recycle.Bin
'Documents and Settings'
DumpStack.log.tmp
OneDriveTemp
PerfLoss
'Program Files'
'Program Files (x86)'
ProgramData
$BuildTools
Recovery
'System Volume Information'
Users
Windows
hiberfil.sys
instpub
pagefile.sys
tools44
swapfile.sys
util
agribio@kadotapc: /mnt/c$
```

# LinuxからWindowsの任意の… 7

Linux側で見えている左側の赤枠内と、  
①エクスプローラで見えている右側の赤枠内が完全に対応しているわけではありませんが、右側で見えているものは全て左側でも見られます。

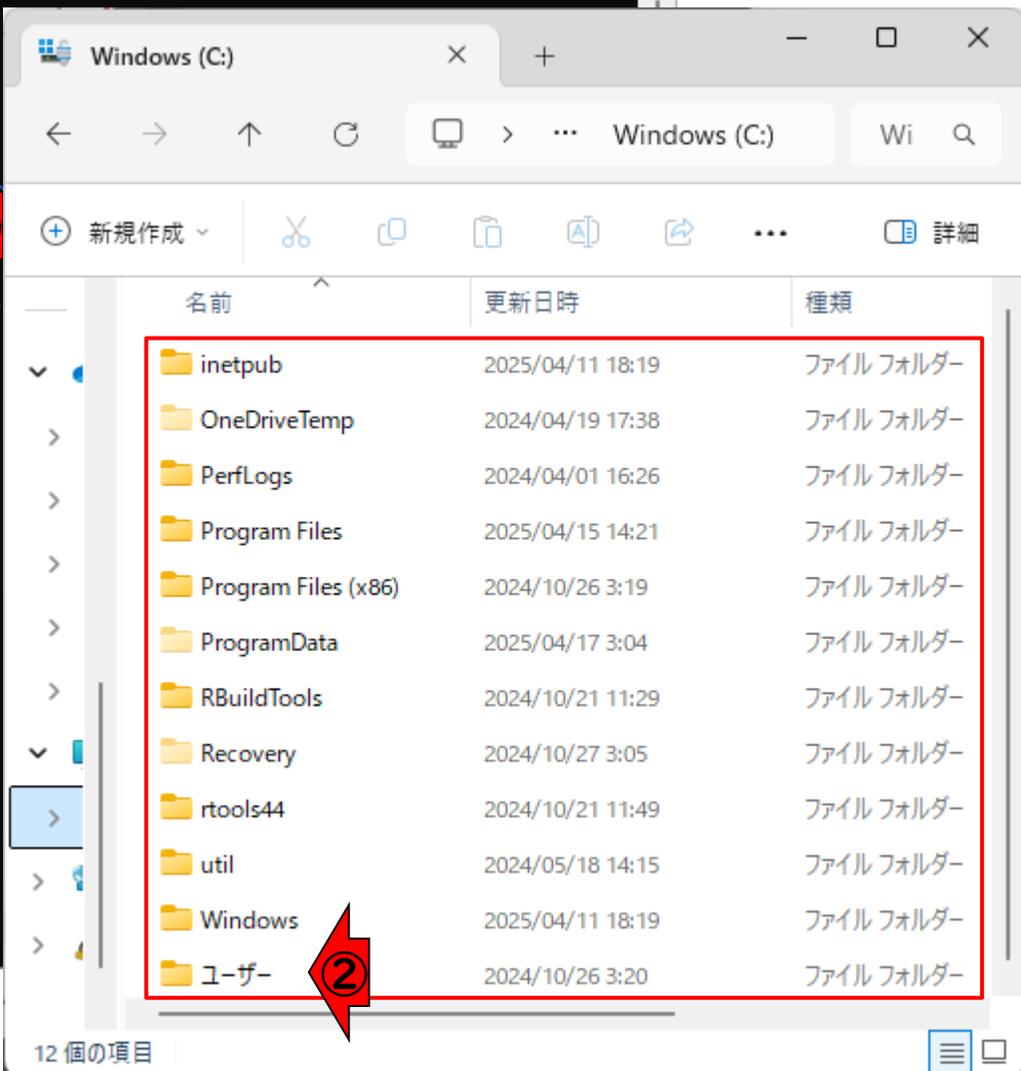
```
agribio@kadotapc: /mnt/c
agribio@kadotapc: /home$ cd /mnt/c
agribio@kadotapc: /mnt/c$ ls
ls: cannot access 'DumpStack.log.tmp': Permission denied
ls: cannot access 'hiberfil.sys': Permission denied
ls: cannot access 'pagefile.sys': Permission denied
ls: cannot access 'swapfile.sys': Permission denied
$Recycle.Bin          Program Files          System Volume Information
Documents and Settings Program Files (x86)    Users
DumpStack.log.tmp    ProgramData            Windows
OneDriveTemp         RBuildTools           hiberfil.sys
PerfLogs             Recovery              inetpub
agribio@kadotapc: /mnt/c$
```



# LinuxからWindowsの任意の… 8

多くのヒトは、②ユーザーフォルダに普段利用するファイルを置いていると思いますが、それは③Usersディレクトリに対応します。

```
agribio@kadtapc: /mnt/c
agribio@kadtapc: /home$ cd /mnt/c
agribio@kadtapc: /mnt/c$ ls
ls: cannot access 'DumpStack.log.tmp': Permission denied
ls: cannot access 'hiberfil.sys': Permission denied
ls: cannot access 'pagefile.sys': Permission denied
ls: cannot access 'swapfile.sys': Permission denied
$Recycle.Bin
'Documents and Settings'
DumpStack.log.tmp
OneDriveTemp
PerfLogs
Program Files
Program Files (x86)
ProgramData
RBuildTools
Recovery
System
Users
Windows
hiberfil.sys
inetpub
agribio@kadtapc: /mnt/c$
```



# LinuxからWindowsの任意の… 9

多くのヒトは、②ユーザーフォルダに普段利用するファイルを置いていると思いますが、それは③Usersディレクトリに対応します。Usersディレクトリに移動して中身を表示すべく、④「cd Users」と「ls」を実行。表示結果はヒトそれぞれ。

```
agribio@kadotapc: /mnt/c/Users
agribio@kadotapc:/home$ cd /mnt/c
agribio@kadotapc:/mnt/c$ ls
ls: cannot access 'DumpStack.log.tmp': Permission denied
ls: cannot access 'hiberfil.sys': Permission denied
ls: cannot access 'pagefile.sys': Permission denied
ls: cannot access 'swapfile.sys': Permission denied
$Recycle.Bin          'Program Files'      'System Volume Information'
'Documents and Settings' 'Program Files (x86)' Users                pagefile.sys
DumpStack.log.tmp    ProgramData           Windows              tools44
OneDriveTemp         BuildTools            hiberfil.sys        swapfile.sys
PerfLoss             Recovery              instpub              util
agribio@kadotapc:/mnt/c$ cd Users
agribio@kadotapc:/mnt/c/Users$ ls
'All Users'  Default  'Default User'  Public  desktop.ini  sink
```

# LinuxからWindowsの任意の… 10

⑤の表示結果の中に、⑥エクスプローラで見えている2つのフォルダ(kadotaとPublic)が確かに存在することがわかります。こんな感じで任意のフォルダに移動していけばよいです。

```
agribio@kadotapc: /mnt/c/Users
agribio@kadotapc:/home$ cd /mnt/c
agribio@kadotapc:/mnt/c$ ls
ls: cannot access 'DumpStack.log.tmp': Permission denied
ls: cannot access 'hiberfil.sys': Permission denied
ls: cannot access 'pagefile.sys': Permission denied
ls: cannot access 'swapfile.sys': Permission denied
$Recycle.Bin      Program Files      'System Volume Information'  pagefile.sys
'Documents and Settings'  'Program Files (x86)'  Users                    tools44
DumpStack.log.tmp      ProgramData        hiberfil.sys            swapfile.sys
OneDriveTemp        BuildTools        Recovery                util
PerfLoss            Recovery
agribio@kadotapc:/mnt/c$ cd Users
agribio@kadotapc:/mnt/c/Users$ ls
'All Users'  default  'Default User'  Public  desktop.ini  work
```

